



# 位置図



令和8年度 市営住宅穂高団地  
除却及び建物付属整備工事

工事場所

市営住宅穂高団地

1:5,000

0 90 180 360 m

番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
	令和8年度 安曇野市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事						
I	建築主体工事（解体）		1.0	式			
II	機械設備工事（解体）		1.0	式			
III	外構工事		1.0	式			
	直接工事費計						
IV	共通仮設費	率仮設	1.0	式			
		積上仮設	1.0	式			
V	現場管理費		1.0	式			
VI	一般管理費		1.0	式			
	諸経費計						
	工事価格						
VII	消費税相当額	10%	1.0	式			
	総合計						









番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
1	S45 41-44号 解体						
2	解体工事						
	解体費						
	内装仕上材撤去	建具類・間仕切壁・キッチン撤去含む 集積共	132.00	m <sup>2</sup>			
	屋根葺き材撤去	洋瓦+瓦棧+ルーフィング材 集積共	191.00	m <sup>2</sup>			
	外部建具類撤去	枠共 集積共	31.00	m <sup>2</sup>			
	臭突撤去	集積共	4.00	箇所			
	屋根解体	軽鉄トラス+木垂木+野地合板 集積共 散水養生含む	191.00	m <sup>2</sup>			
	C B造上屋解体	RC臥梁含む 集積共 散水養生含む	132.00	m <sup>2</sup>			
	土間基礎解体	集積共	132.00	m <sup>2</sup>			
	付帯構造物解体	集積共 玄関 <sup>ろ</sup> ち、便槽、踏石、排水桝	4.60	m <sup>3</sup>			
	給湯器撤去	ガス式	2.00	台			
	小計						

番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
1	S45 41-44号 解体						
2	解体工事	つづき					
	発生材積込	木くず類	7.60	t			
	発生材積込	廃プラスチック類	1.50	t			
	発生材積込	ガラス・陶器くず	0.30	t			
	発生材積込	石膏ボード類	1.50	t			
	発生材積込	洋瓦	11.50	t			
	発生材積込	廃畳	1.00	t			
	発生材積込	解体系混合廃棄物	0.40	t			
	発生材積込	金属くず	7.60	t			
	発生材積込	コンクリート・がれき類	117.00	t			
	発生材積込	臭突等	1.00	式			
	発生材積込	給湯器	2.00	台			
	発生材積込	屋根アンテナ	1.00	式			
	小計						
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
1	S45 41-44号 解体						
2	解体工事	つづき					
	発生材運搬	木くず類	7.60	t			
	発生材運搬	廃プラスチック類	1.50	t			
	発生材運搬	ガラス・陶器くず	0.30	t			
	発生材運搬	石膏ボード類	1.50	t			
	発生材運搬	洋瓦	11.50	t			
	発生材運搬	廃畳	1.00	t			
	発生材運搬	解体系混合廃棄物	0.40	t			
	発生材運搬	金属くず	7.60	t			
	発生材運搬	コンクリート・がれき類	117.00	t			
	発生材運搬	臭突等	1.00	式			
	発生材運搬	給湯器	2.00	台			
	発生材運搬	アンテナ	1.00	式			
	小計						
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
1	S45 41-44号 解体						
2	解体工事	つづき					
	発生材処分	木くず類	7.60	t			
	発生材処分	廃プラスチック類	1.50	t			
	発生材処分	ガラス・陶器くず	0.30	t			
	発生材処分	石膏ボード類	1.50	t			
	発生材処分	洋瓦	11.50	t			
	発生材処分	廃畳	1.00	t			
	発生材処分	解体系混合廃棄物	0.40	t			
	発生材処分	金属くず	7.60	t			
	発生材処分	コンクリート・がれき類	117.00	t			
	発生材処分	臭突等	1.00	式			
	発生材処分	給湯器	2.00	台			
	発生材処分	屋根アンテナ	1.00	式			
	小計						
	細目計						

番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
1	S45 41-44号 解体						
3	アスベスト除去工事						
	除去工事	レベル3（非飛散性）					
	内外床モルタル撤去	養生含む	11.20	m <sup>2</sup>			
	内部床ビニル床シート撤去	養生含む	15.60	m <sup>2</sup>			
	内部壁モルタル撤去	養生含む	181.00	m <sup>2</sup>			
	内部天井成形板撤去	養生含む	32.00	m <sup>2</sup>			
	外部垂直モルタル撤去	養生含む 外壁、基礎	149.00	m <sup>2</sup>			
	軒天スレート板撤去	養生含む	36.00	m			
	サッシ廻りコーキング撤去	養生含む	36.00	m			
	円筒撤去	養生含む Φ150	4.00	カ所			
	特別管理（石綿含有）産業廃棄物処理 集積・積込	フロン詰め	13.40	m <sup>3</sup>			
	特別管理（石綿含有）産業廃棄物処理 運搬	中型車（8 t）県外搬出	2.00	回			
	特別管理（石綿含有）産業廃棄物処理 処分	レベル3（非飛散性）	13.40	m <sup>3</sup>			
	細目計						





番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
2	S45 45-48号 解体						
2	解体工事						
	解体費						
	内装仕上材撤去	建具類・間仕切壁・キッチン撤去含む 集積共	132.00	m <sup>2</sup>			
	屋根葺き材撤去	洋瓦+瓦棧+ルーフィング材 集積共	191.00	m <sup>2</sup>			
	外部建具類撤去	枠共 集積共	31.00	m <sup>2</sup>			
	臭突撤去	集積共	4.00	箇所			
	屋根解体	軽鉄トラス+木垂木+野地合板 集積共 散水養生含む	191.00	m <sup>2</sup>			
	C B造上屋解体	R C臥梁含む 集積共 散水養生含む	132.00	m <sup>2</sup>			
	土間基礎解体	集積共	132.00	m <sup>2</sup>			
	付帯構造物解体	集積共 玄関ポーチ、便槽、踏石、排水桝	4.60	m <sup>2</sup>			
	浴槽撤去		1.00	台			
	給湯器撤去		2.00	台			
	小計						

番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
2	S45 45-48号 解体						
2	解体工事	つづき					
	発生材積込	木くず類	7.60	t			
	発生材積込	廃プラスチック類	1.50	t			
	発生材積込	ガラス・陶器くず	0.30	t			
	発生材積込	石膏ボード類	1.50	t			
	発生材積込	洋瓦	11.50	t			
	発生材積込	廃畳	1.00	t			
	発生材積込	解体系混合廃棄物	0.40	t			
	発生材積込	金属くず	7.60	t			
	発生材積込	コンクリート・がれき類	117.00	t			
	発生材積込	臭突等	1.00	式			
	発生材積込	給湯器	2.00	台			
	発生材積込	屋根アンテナ	1.00	式			
	発生材積込	浴槽	1.00	台			
	小計						
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
2	S45 45-48号 解体						
2	解体工事	つづき					
	発生材運搬	木くず類	7.60	t			
	発生材運搬	廃プラスチック類	1.50	t			
	発生材運搬	ガラス・陶器くず	0.30	t			
	発生材運搬	石膏ボード類	1.50	t			
	発生材運搬	洋瓦	11.50	t			
	発生材運搬	廃畳	1.00	t			
	発生材運搬	解体系混合廃棄物	0.40	t			
	発生材運搬	金属くず	7.60	t			
	発生材運搬	コンクリート・がれき類	117.00	t			
	発生材運搬	臭突等	1.00	式			
	発生材運搬	給湯器	2.00	台			
	発生材運搬	屋根アンテナ	1.00	式			
	発生材運搬	浴槽	1.00	台			
	小計						
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
2	S45 45-48号 解体						
2	解体工事	つづき					
	発生材処分	木くず類	7.60	t			
	発生材処分	廃プラスチック類	1.50	t			
	発生材処分	ガラス・陶器くず	0.30	t			
	発生材処分	石膏ボード類	1.50	t			
	発生材処分	洋瓦	11.50	t			
	発生材処分	廃畳	1.00	t			
	発生材処分	解体系混合廃棄物	0.40	t			
	発生材処分	金属くず	7.60	t			
	発生材処分	コンクリート・がれき類	117.00	t			
	発生材処分	臭突等	1.00	式			
	発生材処分	給湯器	2.00	台			
	発生材処分	屋根アンテナ	1.00	式			
	発生材処分	浴槽	1.00	式			
	小計						
	細目計						

番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単 位	単 価	金 額	
2	S45 45-48号 解体						
3	アスベスト除去工事						
	除去工事	レベル3（非飛散性）					
	内外床モルタル撤去	養生含む 風呂場、ポーチ、踏石、排水桝、便槽	22.30	m <sup>2</sup>			
	内部壁モルタル撤去	養生含む	181.00	m <sup>2</sup>			
	内部天井成形板撤去	養生含む	15.50	m <sup>2</sup>			
	外部垂直モルタル撤去	養生含む 外壁、基礎	149.00	m <sup>2</sup>			
	軒天スレート板撤去	養生含む	36.00	m			
	サッシ廻りコーキング撤去	養生含む	36.00	m			
	円筒撤去	養生含む Φ150	4.00	カ所			
	特別管理（石綿含有）産業廃棄物処理 集積・積込	フロン詰め	12.50	m <sup>3</sup>			
	特別管理（石綿含有）産業廃棄物処理 運搬	中型車（8t）県外搬出	2.00	回			
	特別管理（石綿含有）産業廃棄物処理 処分	レベル3（非飛散性）	12.50	m <sup>3</sup>			
	細目計						





番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単 位	単 価	金 額	
3	S45 49-50号 解体						
2	解体費						
	内装仕上材撤去	建具類・間仕切壁・キッチン撤去含む 集積共	66.40	m <sup>2</sup>			
	屋根葺き材撤去	洋瓦+瓦棧+ルーフィング材 集積共	102.00	m <sup>2</sup>			
	外部建具類撤去	枠共 集積共	15.50	m <sup>2</sup>			
	臭突撤去	集積共	2.00	箇所			
	屋根解体	軽鉄トラス+木垂木+野地合板 集積共 散水養生含む	102.00	m <sup>2</sup>			
	C B造上屋解体	R C臥梁含む 集積共 散水養生含む	66.40	m <sup>2</sup>			
	土間基礎解体	集積共	66.40	m <sup>2</sup>			
	付帯構造物解体	集積共 玄関ポーチ、便槽、踏石、排水桝	2.30	m <sup>3</sup>			
	小計						

番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単 位	単 価	金 額	
3	S45 49-50号 解体						
2	解体工事	つづき					
	発生材積込	木くず類	3.80	t			
	発生材積込	廃プラスチック類	0.70	t			
	発生材積込	ガラス・陶器くず	0.20	t			
	発生材積込	石膏ボード類	0.70	t			
	発生材積込	洋瓦	6.10	t			
	発生材積込	廃畳	0.50	t			
	発生材積込	解体系混合廃棄物	0.20	t			
	発生材積込	金属くず	3.80	t			
	発生材積込	コンクリート・がれき類	65.10	t			
	発生材積込	臭突等	1.00	式			
	発生材積込	アンテナ	1.00	式			
	小計						
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単 位	単 価	金 額	
3	S45 49-50号 解体						
2	解体工事	つづき					
	発生材運搬	木くず類	3.80	t			
	発生材運搬	廃プラスチック類	0.70	t			
	発生材運搬	ガラス・陶器くず	0.20	t			
	発生材運搬	石膏ボード類	0.70	t			
	発生材運搬	洋瓦	6.10	t			
	発生材運搬	廃畳	0.50	t			
	発生材運搬	解体系混合廃棄物	0.20	t			
	発生材運搬	金属くず	3.80	t			
	発生材運搬	コンクリート・がれき類	65.10	t			
	発生材運搬	臭突等	1.00	式			
	発生材運搬	アンテナ	1.00	式			
	小計						
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単 位	単 価	金 額	
3	S45 49-50号 解体						
2	解体工事	つづき					
	発生材処分	木くず類	3.80	t			
	発生材処分	廃プラスチック類	0.70	t			
	発生材処分	ガラス・陶器くず	0.20	t			
	発生材処分	石膏ボード類	0.70	t			
	発生材処分	洋瓦	6.10	t			
	発生材処分	廃畳	0.50	t			
	発生材処分	解体系混合廃棄物	0.20	t			
	発生材処分	金属くず	3.80	t			
	発生材処分	コンクリート・がれき類	65.10	t			
	発生材処分	臭突等	1.00	式			
	発生材処分	アンテナ	1.00	式			
	小計						
	細目計						

番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
3	S45 49-50号 解体						
3	除去工事	レベル3（非飛散性）					
	内外床モルタル撤去	養生含む 風呂場、ポーチ、踏石、排水桝、便槽	11.20	m <sup>2</sup>			
	内部床ビニル床シート撤去	養生含む	7.80	m <sup>2</sup>			
	内部壁モルタル撤去	養生含む	90.60	m <sup>2</sup>			
	内部天井成形板撤去	養生含む	16.50	m <sup>2</sup>			
	外部垂直モルタル撤去	養生含む 外壁、基礎	101.00	m <sup>2</sup>			
	軒天スレート板撤去	養生含む	24.10	m <sup>2</sup>			
	サッシ廻りコーキング撤去	養生含む	18.40	m			
	円筒撤去	養生含む Φ150	2.00	カ所			
	特別管理（石綿含有）産業廃棄物処理 集積・積込	フロン詰め	7.70	m <sup>3</sup>			
	特別管理（石綿含有）産業廃棄物処理 運搬	中型車（8t）県外搬出	1.00	回			
	特別管理（石綿含有）産業廃棄物処理 処分	レベル3（非飛散性）	7.70	m <sup>3</sup>			
	細目計						



番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単 位	単 価	金 額	
4	外構解体						
1	解体工事						
	解体費						
	コンクリート塀撤去	集積共	104.00	m			
	U字溝撤去	U300 集積共	74.00	m <sup>2</sup>			
	樹木撤去	伐採共 集積共 900Φ H3.5m	1.00	本			
	樹木撤去	伐採共 集積共 400Φ H3.5m	1.00	本			
	樹木撤去	伐採共 集積共 900Φ H4.0m	1.00	本			
	樹木撤去	伐採共 集積共 200Φ H3.0m	1.00	本			
	発生材積込	木くず (生木)	0.50	t			
	発生材積込	コンクリート・がれき類	13.50	t			
	発生材運搬	木くず (生木)	0.50	t			
	発生材運搬	コンクリート・がれき類	13.50	t			
	発生材処分	木くず (生木)	0.50	t			
	発生材処分	コンクリート・がれき類	13.50	t			
	細目計						







番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
1	屋外工事						
	給水露出配管撤去	VB15A	73.0	m			
	保温材撤去		73.0	m			
	ガス給湯器撤去	別途（ガス業者対応）		箇所			
	臭突撤去	別途（建築にて）		箇所			
	角桝撤去	□300	30.0	箇所			
	排水配管撤去	VUΦ100	57.0	m			
	放流管キャップ止め	φ100	6.0	箇所			
	給水配管撤去	VU25	70.0	m			
	水道メーター撤去	止水栓、BOX共	10.0	箇所			
	土工事		1.0	式			
	搬出運搬		1.0	式			
	処分費	建築工事に含む					
	1 計						



番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
2	閉栓工事						
2-1	資材・労務費						
	サドル付分水栓閉栓キャップ	Φ25mm (管材類)	3.0	個			
	埋設シート (市道・排水管用)	W=150mm 青地白文字 2倍折込	3.0	m			
	小口径鋼管ねじ込み接合	Φ25mm	3.0	口			
	管明示シート工 (手間のみ)		3.0	m			
	2-1 計						

番号	名称	規格	数量	当初設計			摘要
				単位	単価	金額	
2	閉栓工事						
2-2	土工事						
	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	24.0	m			
	舗装版 掘削・積込	0cm超え10cm以下 小型バックホウ山積0.13m <sup>3</sup> (平積0.1m <sup>3</sup> )	12.0	m <sup>3</sup>			
	発生材運搬工 (4t積級・2t積級・機械積)	DID区間無3.5km以下 2t積バックホウ山積0.13m <sup>3</sup> (平積0.1m <sup>3</sup> )	0.6	m <sup>3</sup>			
	処分費As掘削廃材	共和リテック想定 中信(2)中間処理場	1.5	t			
	機械掘削工 (バックホウ)	小型バックホウ山積0.13m <sup>3</sup> (平積0.1m <sup>3</sup> )	14.4	m <sup>3</sup>			
	機械投入埋戻工 (バックホウ)	洗滌砂 小型バックホウ山積0.13m <sup>3</sup> (平積0.1m <sup>3</sup> )	1.5	m <sup>3</sup>			
	機械投入埋戻工 (バックホウ)	再生クラッシュヤーン (40mm以下) 小型バックホウ山積0.13m <sup>3</sup> (平積0.1m <sup>3</sup> )	12.3	m <sup>3</sup>			
	発生材運搬工 (4t積級・2t積級・機械積)	DID区間無3.5km以下 2t積バックホウ山積0.13m <sup>3</sup> (平積0.1m <sup>3</sup> )	14.4	m <sup>3</sup>			
	残土処分費		14.4	m <sup>3</sup>			
	下層路盤 (車道・路肩部) 1層施工	200mm	12.0	m <sup>2</sup>			
	上層路盤 (車道・路肩部) 粒度調整碎石 M25-0 1層施工	120mm	12.0	m <sup>2</sup>			
	舗装工 (人工施工) t=3cm 再生アスファルト混合物 (密粒度 (13F))	車道及び路肩	12.0	m <sup>2</sup>			
	2-2 計						

番号	名称	規格	数量	当初設計			摘要
				単位	単価	金額	
2	閉栓工事						
2-3	舗装本復旧						
	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	33.0	m			
	舗装版 掘削・積込	0cm超え10cm以下 小型バックホウ山積0.13m <sup>3</sup> (平積0.1m <sup>3</sup> )	27.0	m <sup>3</sup>			
	発生材運搬工 (4t積級・2t積級・機械積)	DID区間無3.5km以下 2t積バックホウ山積0.13m <sup>3</sup> (平積0.1m <sup>3</sup> )	1.5	m <sup>3</sup>			
	処分費As掘削廃材	共和リテック想定 中信(2)中間処理場	3.0	t			
	不陸修正	有り 9mm以上13mm未満	27.0	m <sup>3</sup>			
	舗装工 (人工施工) t=3cm 再生アスファルト混合物 (密粒度 (13F) )	車道及び路肩	27.0	m <sup>3</sup>			
	2-3 計						

番号	名 称	規 格	数 量	当初設計			摘 要
				単 位	単 価	金 額	
2	閉栓工事						
2-4	重機運搬費						
	重機運搬費	BH00.13mダンプ	2.0	往復			
	重機運搬費	フィニッシャー	1.0	往復			
	重機運搬費	ロードローラー	1.0	往復			
	2-4 計						



# 工 事 設 計 用 紙

番号	名 称	規 格	数量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
1	外構工事						
1	自営工事 取付3 (水路横断)		1.0	式			
2	自営工事 取付5 (水路横断)		1.0	式			
3	自営工事 取付6 (水路横断)		1.0	式			
4	自営工事 取付7 (水路横断)		1.0	式			
5	自営工事 取付8 (水路横断)		1.0	式			
6	駐車場 11~16号棟跡地		1.0	式			
7	外構工事 17~22号棟		1.0	式			
8	外構工事 29~40号棟		1.0	式			
9	35~40号棟改修に伴う外構工事		1.0	式			
10	西側接続通路他改修		1.0	式			
11	外灯工事		1.0	式			
12	製品運搬費		1.0	式			
	項目計						

# 工 事 設 計 用 紙

番号	名 称	規 格	数量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
1	外 構 工 事						
1	自営工事 取付3 (水路横断)						
	既存水路撤去 BF300 蓋撤去含む	運搬・処分費含む	6.0	m			
	水路工	横断用VS300×500	6.0	m			
	ラバーポール	H800 接着タイプ	2.0	本			
	重機運搬費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	1 細目計						

# 工 事 設 計 用 紙

番号	名 称	規 格	数量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
1	外 構 工 事						
2	自営工事 取付5 (水路横断)						
	既存舗装切断・撤去	運搬・処分費含む	3.0	m <sup>2</sup>			
	既存水路撤去 BF300 蓋撤去含む	蓋撤去、運搬・処分費含む	3.0	m			
	水路工	VS300×300同型	3.0	m			
	舗装復旧工		2.0	m <sup>2</sup>			
	階段工		1.0	式			
	既存通路撤去・復旧	縁石・インターロッキング	5.6	m <sup>2</sup>			
	設備柵高さ調整		1.0	式			
	ラバーポール	H800 接着タイプ	2.0	本			
	重機運搬費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	2 細目計						

## 工 事 設 計 用 紙

番号	名 称	規 格	数量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
1	外 構 工 事						
3	自営工事 取付6 (水路横断)						
	既設舗装撤去	運搬・処分費含む	7.0	m2			
	既設水路撤去 BF300 蓋撤去含む	運搬・処分費含む	9.0	m			
	水路工	VS300*300 胴型	3.0	m			
	舗装復旧工		4.0	m2			
	階段工		1.0	カ所			
	既設通路撤去・復旧	縁石・インターロッキング・土工・基礎含む	4.6	m2			
	既設設備柵高さ調整		1.0	式			
	ラバーポール	H800 接着タイプ	2.0	本			
	重機運搬費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	3 細目計						

# 工 事 設 計 用 紙

番号	名 称	規 格	数量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
1	外 構 工 事						
4	自営工事 取付7 (水路横断)						
	既設舗装切断・撤去	運搬・処分費含む	7.0	m <sup>2</sup>			
	既設水路撤去	BF300 蓋撤去含む 運搬・処分費含む	9.0	m			
	水路工	VS300*300 同型	3.0	m			
	舗装復旧工		4.0	m <sup>2</sup>			
	階段工		1.0	箇所			
	接続通路設置工	縁石・インターロッキング・土工・基礎含む	4.6	m <sup>2</sup>			
	既設設備柵高さ調整		1.0	式			
	ラバーポール	H800 接着タイプ	2.0	本			
	重機運搬費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	4 細目計						



## 工 事 設 計 用 紙

番号	名 称	規 格	数量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
1	外 構 工 事						
6	駐車場 11～16号棟跡地						
	L型擁壁	H=0.75 土工事含む	41.0	m3			
	OSU0300*300型	土工・グレーチング含む	36.0	m			
	OSU0300*500型	土工・グレーチング含む	2.0	m			
	浸透柵 900型	SGP接続含む	1.0	カ所			
	浸透柵 500型		3.0	カ所			
	舗装土工	掘削・残土処理	158.0	m2			
	舗装工	不陸整正・路盤・表層	553.0	m2			
	碎石敷き工	t15cm C-40	51.0	m2			
	車止め	着脱式 W1500	3.0	基			
	車止めブロック		28.0	箇所			
	区画線	19台分 駐車区画No. 1～4号棟北駐車場の駐車区画No、身障者マーク含む	1.0	式			
	駐輪場	土工・基礎碎石・コンクリート (基礎・土間) 含む材工	1.0	箇所			
	次頁へ続く						





## 工 事 設 計 用 紙

番号	名 称	規 格	数量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
1	外 構 工 事						
8	外構工事 29~40号棟						
	掘削・残土処理		238.0	m3			
	VS300*300型	土工・蓋含む	28.0	m			
	VS300*400型	土工・蓋含む	14.0	m			
	VS300*500型	土工・蓋含む	10.0	m			
	VS300*700型	土工・蓋含む	2.0	m			
	浸透柵	900型	2.0	カ所			
	浸透柵	900型 SGP接続含む	1.0	カ所			
	舗装工	不陸整正・路盤・表層	819.0	m2			
	車止め	着脱式 W1500	6.0	基			
	車止めブロック		26.0	カ所			
	区画線	15台分 駐車区画NO. 身障者マーク 含む	1.0	式			
	フェンス工	H=800 含む	52.0	m			
	次頁へ続く						

## 工 事 設 計 用 紙

番号	名 称	規 格	数量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
1	外 構 工 事						
8	外構工事 29~40号棟						
	重機運搬費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	8 細目計						

## 工 事 設 計 用 紙

番号	名 称	規 格	数量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
1	外 構 工 事						
9	35～40号棟改修に伴う外構工事						
	VS側溝300*300型	土工・蓋含む	62.0	m			
	L型擁壁	ミニウォール	81.0	m			
	浸透枿	500型	5.0	カ所			
	碎石敷き工	t15cm C-40	62.0	m2			
	既設物置移設	移設・仮置き・再設置	1.0	式			
	駐輪場	土工・基礎碎石・コンクリート (基礎・土間)含む材工	1.0	箇所			
	防草シート	土工事含む	15.0	m2			
	重機運搬費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	9 細目計						



# 工 事 設 計 用 紙

番号	名 称	規 格	数量	当初設計			摘 要
				単位	単 価	金 額	
1	外 構 工 事						
11	外灯工事						
	街路灯	ソーラ-付LED街路灯 基礎含む 材工	6.0	ヶ所			
	法定福利費		1.0	式			
	11 細目計						
12	製品運搬費						
	二次製品運搬費		1.0	式			
	12 細目計						

# 現場説明書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

## 1. 件名（工事名称）

令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物附属整備工事

## 2. 工事場所： 安曇野市 市営住宅穂高団地

## 3. 工事概要： ・昨年度竣工した市営住宅穂高団地建物周辺の整備工事と既存建物の除却 工事を行う。

整備工事 昨年度改修した建物周辺工事

駐車場の整備

雨水排水の整備

建物廻りの整備等

除却工事 CB造 平屋建て 3棟の除却と整地

41～44号棟 139.12㎡

45～48号棟 139.12㎡

49～50号棟 69.56㎡

## 4. 工期： 契約日 から 令和8年11月30日

## 5. 一般事項について

### (1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

### (2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

### (3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

### (4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

## 6. 本工事における特記事項

### (1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地

現場事務所	同上敷地
-------	------

(2) 排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼすことのないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得ること。

(3) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。

(4) 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は監理者・監督員と打合せを行い、監理者・監督員の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうえ施工すること。

(5) 周辺施設利用者及び周辺住民の安全に十分配慮すること。

(6) 感染症対策は十分に講じること。

(7) 各官公庁手続きについて、

事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

(8) 残土関係

~~本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費運搬費を計上している。~~

~~なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。~~

○建設発生土

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

(9) この工事は執務並行型の工事である。

(10) 本工事は、「安曇野市週休2日工事実施要領」の通期の週休2日工事の対象である。

なお、週休2日の取組実績に応じて、単価の補正を行い、設計変更を行うものとする。

(工事発注時は対象期間内の現場閉所率が28.5%以上となる工事を想定した設計単価で積算している。)

7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

~~・本工事に近接・競合する工事の予定~~

発注機関				

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

## 8. 安全対策関係

### ①交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

### ②安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

## 9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

## 10. その他

火災保険等への加入期間は、請負契約後から契約工期末日後14日までとする。

## 特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

### 1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

### 2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

- (1) 公共事業労務費調査等
- (2) 資材調査、建設副産物実態調査等

### 3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

### 4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

### 5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

- (1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。
- (2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

- ① 工事受注時契約締結後10日以内
- ② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内
- ③ 工事完成時工事完成後10日以内

### 6. 施工体制台帳に係る書類について

- (1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。
- (2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。
- (3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。
  - ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
  - ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
  - ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

## 7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- (1) 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- (2) 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- (3) エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- (4) 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

## 8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときには、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

## 9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

## 10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によ

り、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

#### 11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めると。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

#### 12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」いう。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

#### 13. ~~セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

#### 14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

(1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

○報告書の記載内容

①アスベスト材料の種別

②アスベスト形状、飛散可能性の有無

③製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

(2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

#### 15. 建設業退職金制度について

(1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。

(2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。

(3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

#### 16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

(1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。

(2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。

(3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

#### 17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

#### 18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化（平

成16年6月9日公布)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により認証を受けた工場)で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者(コンクリート主任技士等)が置かれ、良好な品質管理が行われている工場(全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等)から選定する。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

#### 19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

##### ○添付書類

- ・ 工事記録(工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報)
- ・ 工事打合わせ記録簿(当月分)
- ・ 工事写真(工事の進捗状況がわかるものを数枚)

#### 20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

#### 21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

#### 22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

①完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用することができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。

②以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

イ. 完成写真を公表すること。

ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複製させ、又は譲渡すること。

#### 23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

#### 24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者(随意契約の場合にあっては、契約の相手方)は、建設業法(昭和24年法律第100号第20条の2第2項に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定(随意契約の場合にあっては、契約の相手方の決定)から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため必要な情報を合わせて通知すること。

#### 25. 設計変更による工事費について

設計変更に伴い算出する変更請負額は、次式により算出する。

[変更請負額] = {[変更設計工事価格] × [当初請負比率]} ※1 + [消費税相当額]

当初請負比率 : [当初請負代金額から消費税等相当額を減じた額] / [当初設計額の工事価格]

※1 有効桁上位 4 桁、5 桁目以降及び一千万円未満の場合は一万円単位となるよう切り捨て

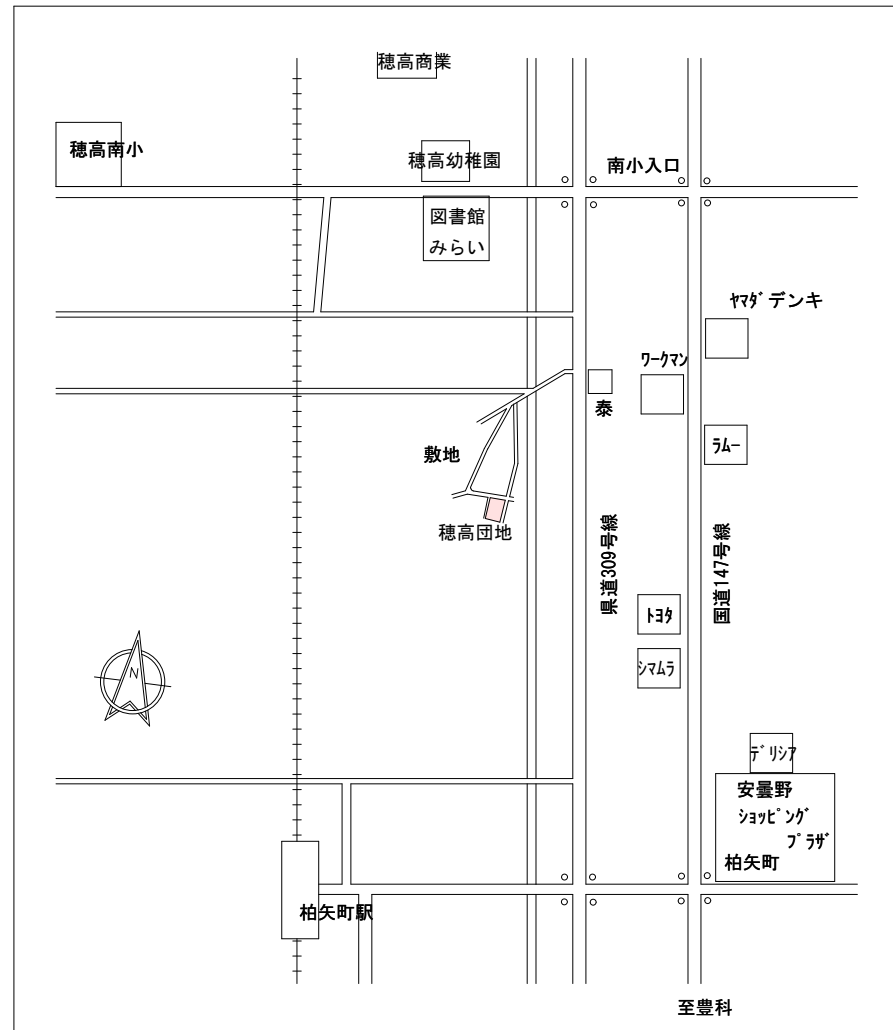
令和 8 年 4 月 1 日 適用版

# 令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事

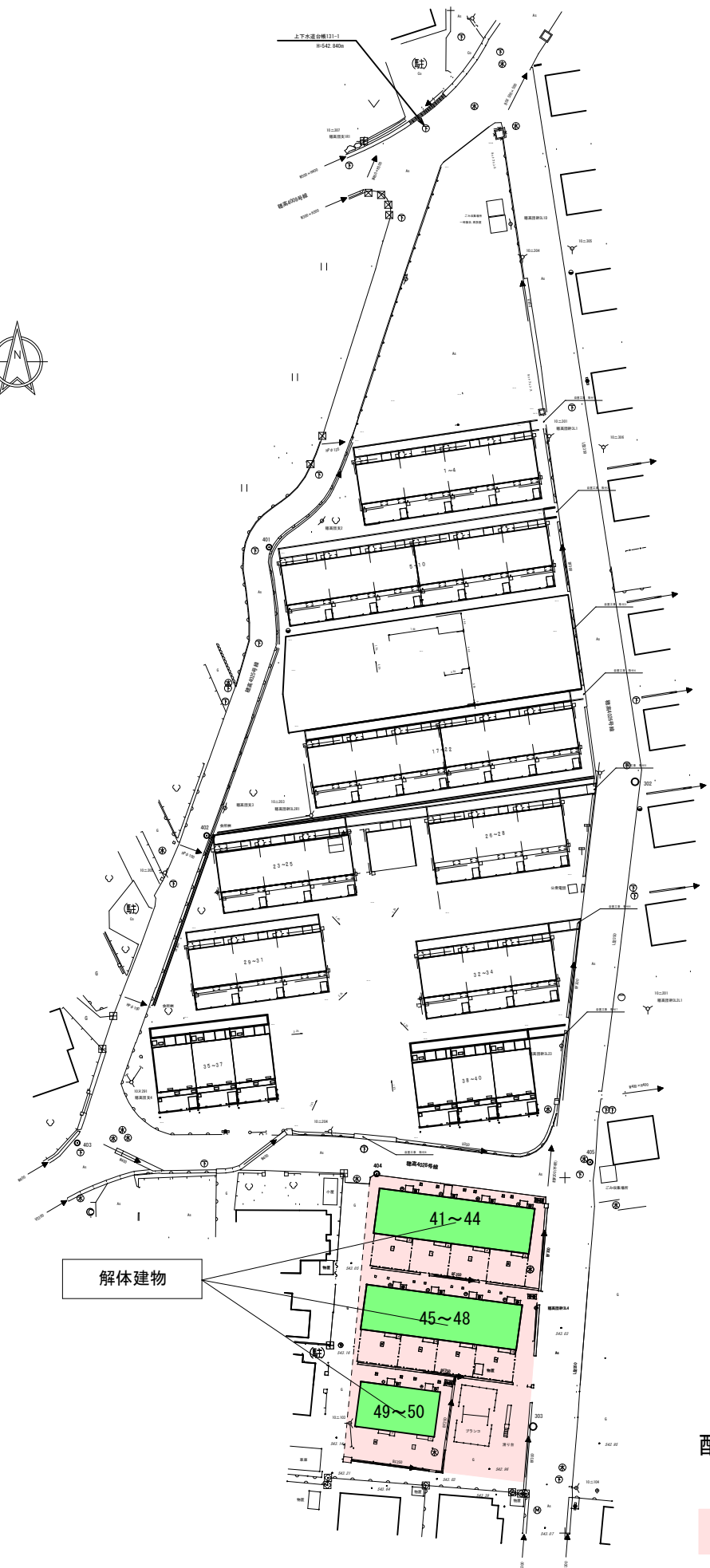
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	表紙・図面リスト	G-01	外構全体計画図
A-01	配置図・案内図	G-02	自営工事
A-02	仮設計画図	G-03	自営工事
A-03	電気・設備計画図	G-04	構造図
A-04	解体仕様書	G-05	構造図
A-05	仕上表 S45-41-44	G-06	構造図
A-06	平面図（4世帯）S45-41-44	G-07	構造図
A-07	仕上表 S45-45-48	G-08	構造図
A-08	平面図（4世帯）S45-45-48	G-09	構造図
A-09	仕上表 S45-49-50	G-10	駐輪場
A-10	平面図（2世帯）S45-49-50		
A-11	平面詳細図		
A-12	立面図1（4世帯）		
A-13	立面図2（4世帯）		
A-14	立面図3（2世帯）		
A-15	展開図1		
A-16	展開図2		
A-17	基礎伏図・小屋伏図（4世帯）		
A-18	基礎伏図・小屋伏図（2世帯）		
A-19	基礎躯体詳細図・小屋梁図		
A-20	外構図		

安曇野市

案内図



敷地場所：安曇野市 穂高 柏原 1666-3  
 用途地域：都市計画区域内  
 拠点・準拠点市街区域 用途指定区域  
 建ぺい/容積率：60/100（%）  
 防火地域：指定なし  
 敷地面積：995.62㎡



配置図

解体工事対象部分を示す

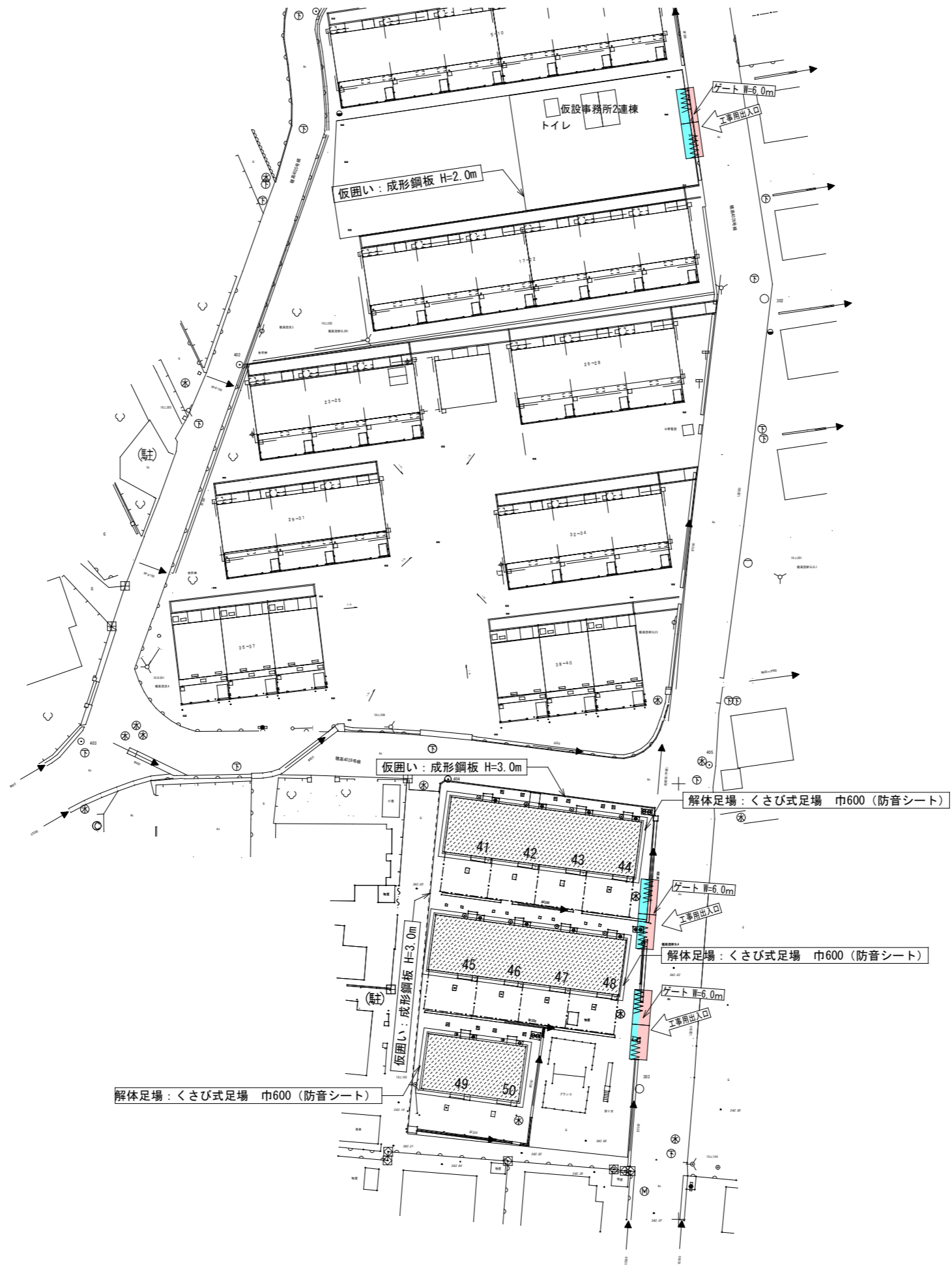
- 特記事項
- 1) 工事現場及び搬入道路、周辺道路は常に清掃、整理整頓に心掛け、周辺住民に迷惑をかけることの無いように留意すること
  - 2) 搬出入は特に注意し、大型車の搬入などのある場合、交通誘導員など配慮のこと
  - 3) 本工事に必要な官公庁への手続き・届届（建築確認申請、道路使用申請書等）は、受注者の責任において速やかに行い、その費用は本工事に含むものとする。また、検査に要する諸費用も受注者負担とする
  - 4) 工事期間中は労働安全衛生法等の関係法令に従って、危険防止、災害防止に努め、遺漏無きように万全を尽くすこと
  - 5) 近隣対策（事前挨拶、苦情処理、運搬便等）は充分に行う。また、近隣からのクレームがあった場合には速やかに監督員に連絡し、指示に従い処理する
  - 6) 工事電気、工事用水については、受注者にて用意し費用負担すること
  - 7) 工事中において、方が一水道管等を破損した場合は、速やかに所管へ連絡を行いその指示に従うこと  
なお、その場合の復旧費用負担は受注者とする
  - 8) 低騒音低振動型の機械を使用し、騒音、振動、粉塵は最小限に抑え、周辺環境への影響を最小限に努めること
  - 9) アスベストの含まれる恐れのある建材等、廃材処理については関係法令に従って適切に処理を行うこと
  - 10) 関係機関（安曇野市（上下水）、中部電力、NTT、ガス業者など）との連絡協議調整を充分行い、申請が必要なものは、申請を行ってから施工のこと
  - 11) 完了検査による手戻、監督員の承諾を得て残工事があった場合は、速やかに処理を始め、監督員の承諾を得て完成書類と共に引き渡しを行うこと
  - 12) 引き渡し後に生じた施工の欠陥及び設備欠陥故障は契約書に基づき速やかに修理する
  - 13) 工期は遵守すること
  - 14) 施工後の検査が困難となる工事は、随時監督員の立会い検査を受け、必要により写真に記録しておくこと
- 外構撤去計画  
 工事エリア外周部 丸太杭2.0m間口φ1500×1500 130相当（杭）2段ロープ張り  
 工事エリア995㎡相当 整地後 盛り土 t150mm 砕石敷 t150mm 転圧のこと

概略工程表

工事名	令和8年度 市営住宅穂高団地41号～50号解体等工事			
	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目
打合せ	契約	取壊し・障害物除去		検査
準備工		手壊し・建具・機器撤去、瓦おろしなど撤去		
解体		アスベスト撤去		
アスベスト			躯体解体・積込み運搬	
躯体解体			敷地・杭掘り	
外構				裏積作成
報告書				

※工程については参考工程表です。

			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事	MAP NAME	MAP NO. A-01
			DATE R08.01.30			SCALE S=1/300、NON	



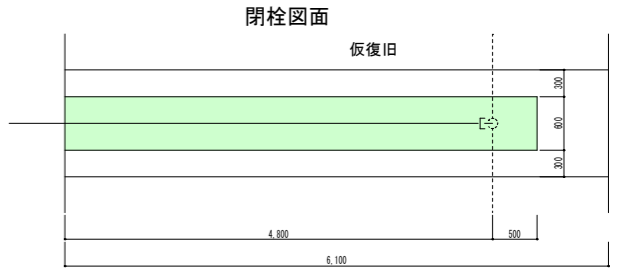
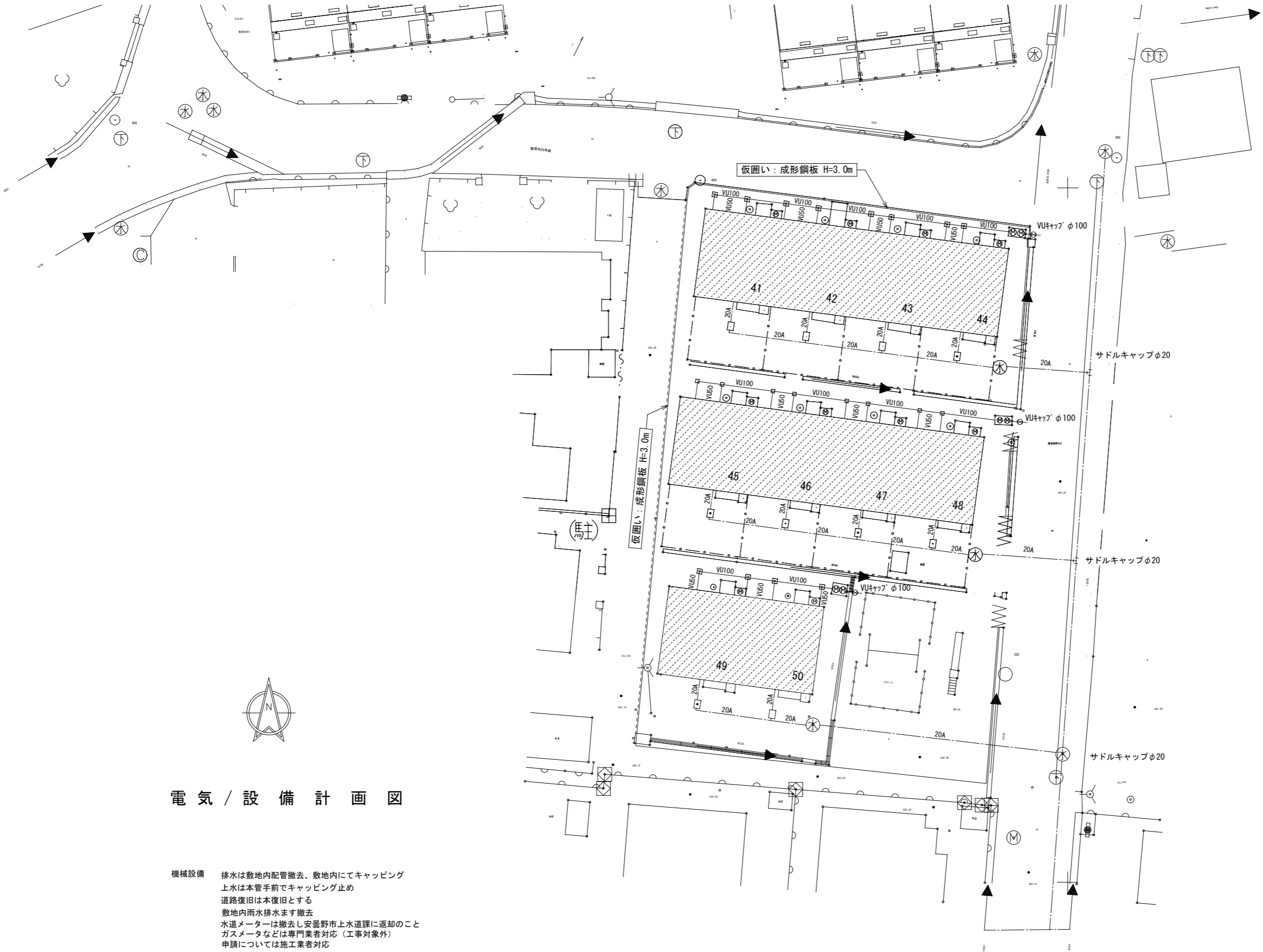
仮設計画図

敷き鉄板：5\*10 t=22

道路使用許可エリア

現場事務所：2連棟相当 トイレ：1基 出入口ゲート：H2.0m\*W6.0m 3箇所  
 出入口敷き鉄板：5\*10 t22 27㎡相当  
 仮囲い：成形鋼板 H=3.0m 130m相当  
 仮囲い：成形鋼板 H=2.0m 45m相当  
 解体足場：くさび式足場 巾600 (防音シート)  
 工事用水、工事電力は有償にて使用

			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事	MAP NAME	MAP NO. A-02
			DATE R08.01.30			SCALE S=1/600	



電気 / 設備 計画図

**機械設備** 排水は敷地内配管撤去、敷地内にてキャッピング  
 上水は本管手前でキャッピング止め  
 道路復旧は本復旧とする  
 敷地内雨水排水ます撤去  
 水道メーターは撤去し安曇野市上水道課に返却のこと  
 ガスメーターなどは専門業者対応（工事対象外）  
 申請については施工業者対応

**電気設備** 電気切り離し（引込部分：一時側）は専門業者による  
 電話切り離し（引込部分：一時側）は専門業者による  
 申請については施工業者対応

			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
			DATE		令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事	電気・設備計画図	A-03
			R08.01.30			SCALE	S=1/600



建築概要

工事名	(仮称) 令和7年度 市営住宅穂高団地41~50号解体工事		
建築主	安曇野市		
工事場所	長野県安曇野市穂高柏原1690-1 市営住宅穂高団地		
用途地域	指定なし 安曇野市土地利用条例で定める田園環境区域		
主要用途	集合住宅		
構造	CB造 平屋建て		
最高高さ	4,500 mm	最高軒高さ	3,200 mm

各面積	41~44号 4戸建て 1棟	合計
敷地面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
建築面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
延床面積 1棟	132.84 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
該当建物	昭和45年度建設 41号~44号	

外部仕上表

屋根	粘土葺 瓦葺 アスファルトフイーグ	ポーチ・犬走	コンクリート打うえモルタル金鍍押さえ
	野地板 t=12.0 垂木45*45@455	床下	木製
破風・鼻隠し	カラーGL鋼板 下地 木	断熱材	天井：なし 壁：なし 床下：なし 基礎：なし
軒裏	セメントボード t=6.0 一部有孔 (スレート)		
外壁	CB壁モルタル下地の上リシン	金物	樋：カラー鋼板
基礎	基礎コンクリート モルタル仕上げ	その他	煙突 臭突 換気扇 レジスター 床下換気口
窓サッシ・ドア	サッシ：アルミ 木製建具 ※アスベスト (コーキング)		

内部仕上表

階	室名	床	下地	巾木	下地	壁	腰部	壁 (上部含む)	天井	平均天井高 mm	備考	
1	玄関	金鍍押さえ (土間コンクリート)	モルタル	モルタル	木下地 CB下地	パ-チカルボード t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		PBt=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧PBt=7.0 AEP塗装	—	框 75×135	
	和室1 (6.0畳)	タタミ t=60	荒板張り t12	タタミ寄せ	木下地 CB下地	パ-チカルボード t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		PBt=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧PBt=7.0 AEP塗装	CH = 2,300	42号室 床ビ-ニ-ット 木床下地	
	和室2 (6.0畳)	タタミ t=60	荒板張り t12	タタミ寄せ	木下地 CB下地	パ-チカルボード t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装 ※		PBt=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧PBt=7.0 AEP塗装	CH = 2,300	42号室 床ビ-ニ-ット 木床下地 43号室 天井ケイ化板 木床下地	
	押入1	ラワン合板 (中段とも)	木下地組	見切り		ラワン合板		ラワン合板	ラワン合板	CH = 2,300	押入・中段あり	
	押入2	ラワン合板 (中段とも)	木下地組	見切り		ラワン合板		ラワン合板	ラワン合板	CH = 2,300	押入・中段あり	
	浴室	金鍍押さえ (土間コンクリート)	モルタル	モルタル		モルタル		モルタル	セメント板 t=6.0 ※ (スレート)	CH =		
	台所	無垢フローリング (板) t12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パ-チカルボード t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		PBt=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧PBt=7.0 AEP塗装	CH = 2,330	43号, 44号室 床ビ-ニ-ット 木床下地 ガス台流し 43号, 44号室 天井 セメント板 t=6.0 木下地	
	トイレ	無垢フローリング (板) t12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パ-チカルボード t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		PBt=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧PBt=7.0 AEP塗装	CH = 2,330	下部 便槽 (基礎) 44号室 床ビ-ニ-ット 木床下地	
	廊下	無垢フローリング (板) t12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パ-チカルボード t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		PBt=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧PBt=7.0 AEP塗装	CH = 2,330	43号, 44号室 床ビ-ニ-ット 木床下地	
						凡例						
						※アスベスト (みなし含む) を示す						
昭和45年度建設 41号~44号								DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
										令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事	仕 上 げ 表	A-05
								DATE	R08.01.30		SCALE	NON



- 7スベ\*開連(レベ\*#3みなし含む) 凡例
- モルタル、モルタル下地
  - 壁 加ス 壁 化粧ボード 壁 モルタル
  - 天井 スレートボード、化粧PB
  - 床シート、カーペット
  - セメント円筒
  - ☆ 巾木
  - サッシュ廻リシール材

昭和45年度建設 41号~44号		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
		DATE		令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事	平面図(4世帯) S45-41-44	A - 06
		R08.01.30			SCALE	A3 S=/60

建築概要

工事名	(仮称) 令和7年度 市営住宅穂高団地41~50号解体工事		
建築主	安曇野市		
工事場所	長野県安曇野市穂高柏原1690-1 市営住宅穂高団地		
用途地域	指定なし 安曇野市土地利用条例で定める田園環境区域		
主要用途	集合住宅		
構造	CB造 平屋建て		
最高高さ	4,500 mm	最高軒高さ	3,200mm

各面積	45~48号 4戸建て 1棟	合計
敷地面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
建築面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
延床面積 1棟	132.84 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
該当建物	昭和45年度建設 45号~48号	

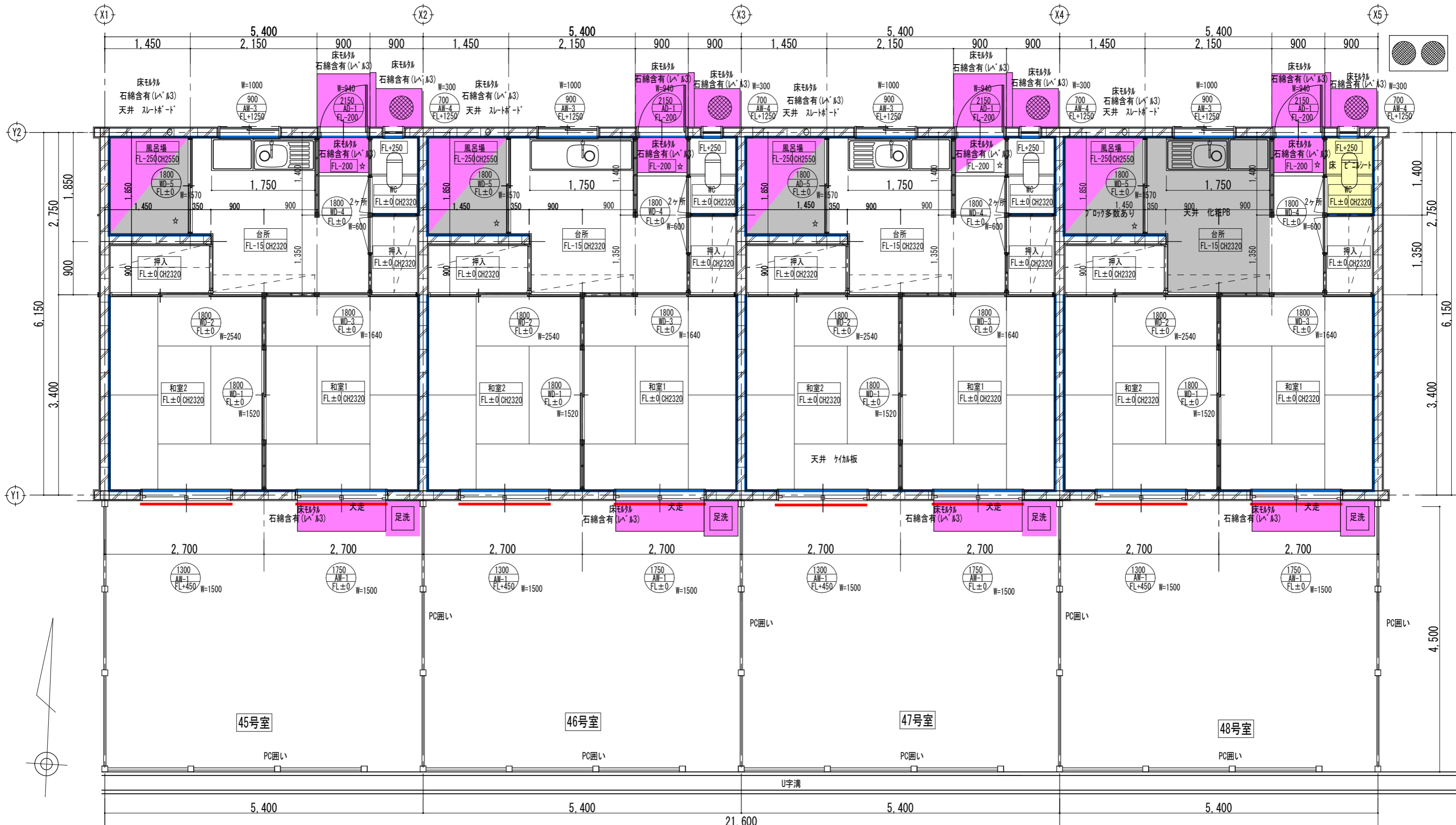
外部仕上表

屋根	粘土葺 瓦葺 アスファルトフイック 野地板 t=12.0 垂木45*45@455	ポーチ・犬走	コンクリート打うえモルタル金鍍押さえ
破風・鼻隠し	カラーGL鋼板 下地 木	床下	木製
軒裏	セメントボード t=6.0 一部有孔 (スレート)	断熱材	天井：なし 壁：なし 床下：なし 基礎：なし
外壁	CB壁モルタル下地の上リシン	金物	樋：カラー鋼板
基礎	基礎コンクリート モルタル仕上げ	その他	煙突 臭突 換気扇 レジスター 床下換気口
窓サッシ・ドア	サッシ：アルミ 木製建具 ※アスベスト (コーキング)		

内部仕上表

階	室名	床	下地	巾木	下地 壁 腰部	壁 壁 (上部含む)	天井	平均天井高 mm	備考
1	玄関	金鍍押さえ (土間コンクリート)	モルタル	モルタル	木下地 パーチルボード t6.0 AEP塗装 CB下地 モルタル t15 AEP塗装	PBt=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧PBt=7.0 AEP塗装	—	框 75×135
	和室1 (6.0畳)	タタミ t=60	荒板張り t12	タタミ寄せ	木下地 パーチルボード t6.0 AEP塗装 CB下地 モルタル t15 AEP塗装	PBt=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧PBt=7.0 AEP塗装	CH = 2,300	
	和室2 (6.0畳)	タタミ t=60	荒板張り t12	タタミ寄せ	木下地 パーチルボード t6.0 AEP塗装 CB下地 モルタル t15 AEP塗装 ※	PBt=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧PBt=7.0 AEP塗装	CH = 2,300	
	押入1	ラワン合板 (中段とも)	木下地組	見切り	ラワン合板	ラワン合板	ラワン合板	CH = 2,300	押入・中段あり
	押入2	ラワン合板 (中段とも)	木下地組	見切り	ラワン合板	ラワン合板	ラワン合板	CH = 2,300	押入・中段あり
	浴室	金鍍押さえ (土間コンクリート)	モルタル	モルタル	モルタル	モルタル	セメント板 t=6.0 ※ (スレート)	CH =	48号 ブロック多数あり
	台所	無垢フローリング (板) t12.0	木下地組	木製	木下地 パーチルボード t6.0 AEP塗装 CB下地 モルタル t15 AEP塗装	PBt=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧PBt=7.0 AEP塗装	CH = 2,330	ガス台流し 48号 天井 化粧PB 木下地
	トイレ	無垢フローリング (板) t12.0	木下地組	木製	木下地 パーチルボード t6.0 AEP塗装 CB下地 モルタル t15 AEP塗装	PBt=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧PBt=7.0 AEP塗装	CH = 2,330	下部 便槽 (基礎) 48号 床 ビニールシート 木下地
	廊下	無垢フローリング (板) t12.0	木下地組	木製	木下地 パーチルボード t6.0 AEP塗装 CB下地 モルタル t15 AEP塗装	PBt=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧PBt=7.0 AEP塗装	CH = 2,330	
					凡例 ※アスベスト (みなし含む) を示す				

昭和45年度建設 45号~48号	DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事	MAP NAME 仕上げ表 S45 45~48号室	MAP NO. A-07
	DATE R08.01.30			SCALE NON	



- 7ｽﾞｽﾄ関連(ﾊﾞﾙ3みなし含む) 凡例
- モルタル、モルタル下地
  - 壁 クロス 壁 化粧ボード 壁 モルタル
  - 天井 スレートボード、化粧PB
  - 床シート、カーペット
  - せんり円筒
  - ☆ 巾木
  - サツシ廻りシール材

昭和45年度建設 45号~48号	DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事	MAP NAME	MAP NO.
	DATE	ROB.01.30		平面図(4世帯) S45 45号から48号	A - 08
			SCALE		
			A3 S=1/60		

建築概要

工事名	(仮称) 令和7年度 市営住宅穂高団地41~50号解体工事		
建築主	安曇野市		
工事場所	長野県安曇野市穂高柏原1690-1 市営住宅穂高団地		
用途地域	指定なし 安曇野市土地利用条例で定める田園環境区域		
主要用途	集合住宅		
構造	CB造 平屋建て		
最高高さ	4,500 mm	最高軒高さ	3,200 mm

各面積	49~50号 2戸建て 1棟	合計
敷地面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
建築面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
延床面積 1棟	66.42 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
該当建物	昭和45年度建設 49号~50号	

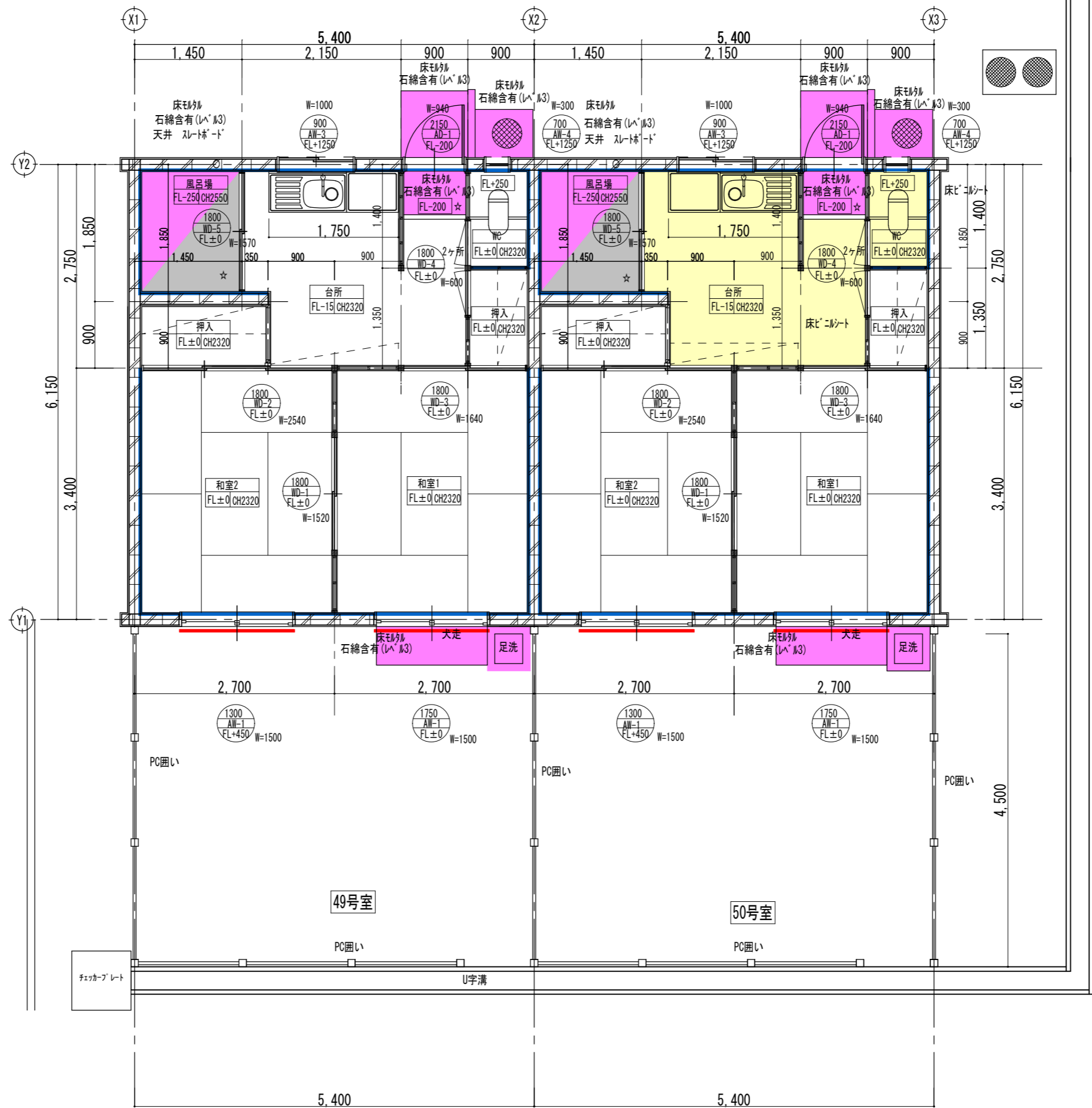
外部仕上表

屋根	粘土葺 瓦葺 7スファルルフィン	ポーチ・犬走	コンクリート打うえモルタル金鍍押さえ
	野地板 t=12.0 垂木45*45@455	床下	木製
破風・鼻隠し	カラーGL鋼板 下地 木	断熱材	天井：なし 壁：なし 床下：なし 基礎：なし
軒裏	セメントボード t=6.0 一部有孔 (スレート)		
外壁	CB壁モルタル下地の上リシン	金物	樋：カラー鋼板
基礎	基礎コンクリート モルタル仕上げ	その他	煙突 臭突 換気扇 レジスター 床下換気口
窓サッシ・ドア	サッシ：アルミ 木製建具 ※アスベスト (コーキング)		

内部仕上表

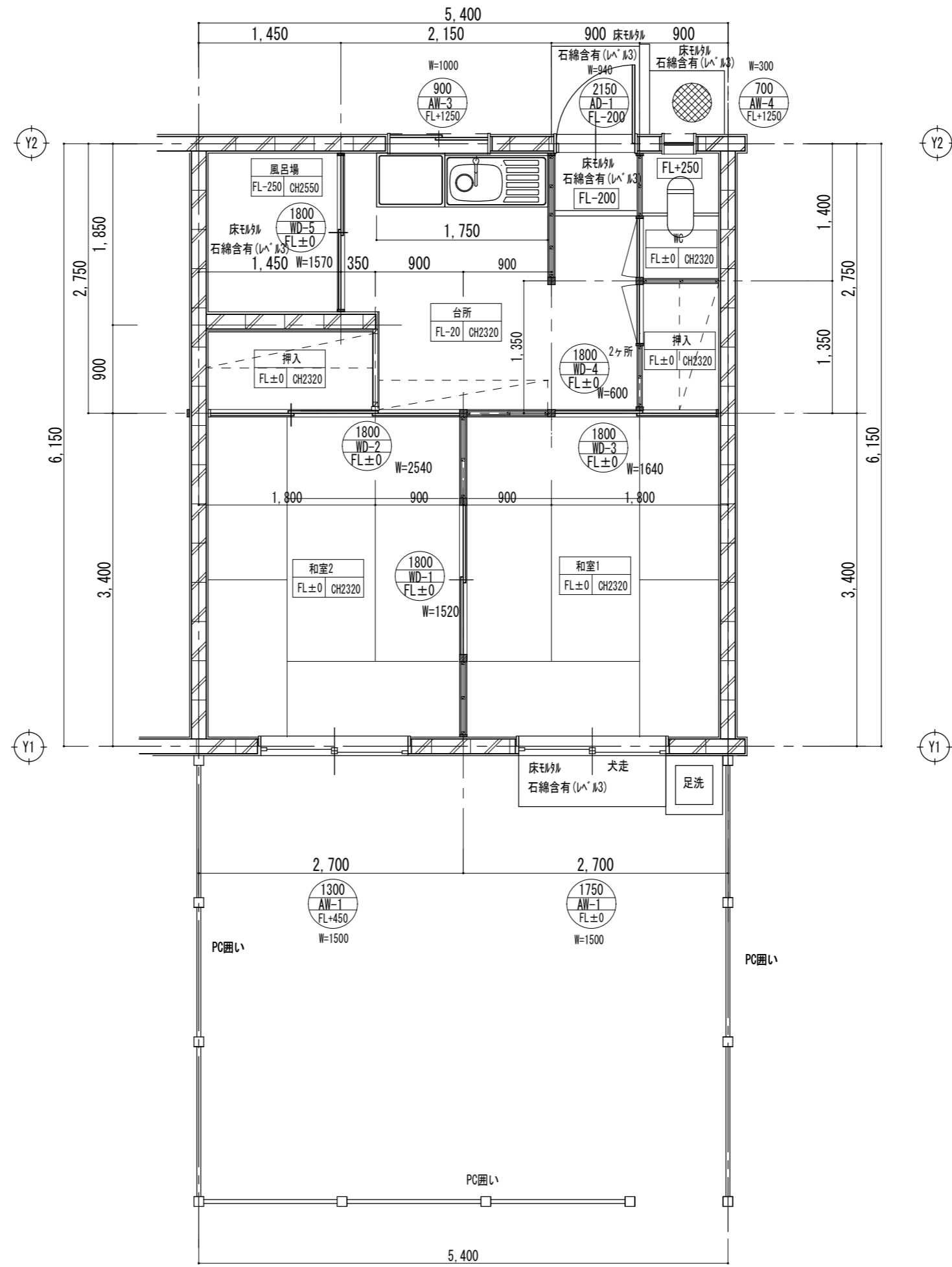
階	室名	床	下地	巾木	下地	壁	腰部	壁	壁 (上部含む)	天井	平均天井高 mm	備考	
1	玄関	金鍍押さえ (土間コンクリート)	モルタル	モルタル	木下地 CB下地	パ-チル-ド t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧P B t=7.0 AEP塗装	—		框 75×135	
	和室1 (6.0畳)	タタミ t=60	荒板張り t12	タタミ寄せ	木下地 CB下地	パ-チル-ド t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,300			
	和室2 (4.5畳)	タタミ t=60	荒板張り t12	タタミ寄せ	木下地 CB下地	パ-チル-ド t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装 ※		P B t=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,300			
	押入1	ラワン合板 (中段とも)	木下地組	見切り		ラワン合板		ラワン合板	ラワン合板	ラワン合板	CH = 2,300		押入・中段あり
	押入2	ラワン合板 (中段とも)	木下地組	見切り		ラワン合板		ラワン合板	ラワン合板	ラワン合板	CH = 2,300		押入・中段あり
	浴室	金鍍押さえ (土間コンクリート)	モルタル	モルタル		モルタル		モルタル	セメント板 t=6.0 ※ (スレート)		CH =		
	台所	無垢フローリング (板) t12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パ-チル-ド t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,330		ガス台流し 50号 床 ビ-コ-シート 木下地	
	トイレ	無垢フローリング (板) t12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パ-チル-ド t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,330		下部 便槽 (基礎) 50号 床 ビ-コ-シート 木下地	
	廊下	無垢フローリング (板) t12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パ-チル-ド t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,330		50号 床 ビ-コ-シート 木下地	
						凡例							
					※アスベスト (みなし含む) を示す								

昭和45年度建設 49号~50号		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事		MAP NAME	MAP NO.
		DATE 08.01.30				仕 上 げ 表	A-09
						SCALE	NON

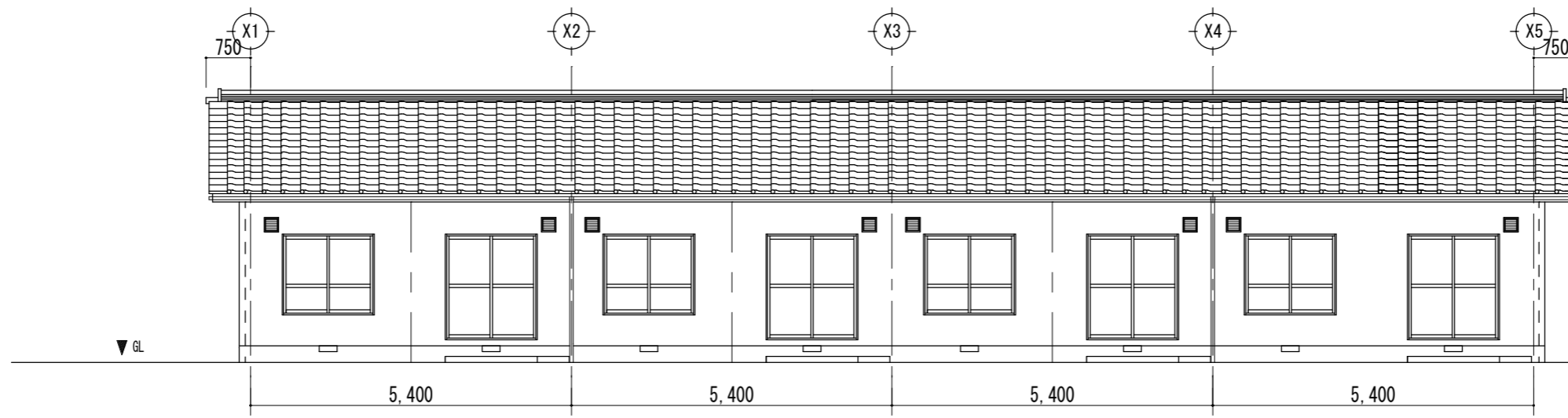


- アスベスト関連(レベル3みなし含む) 凡例
- モルタル、モルタル下地
  - 壁 クラス 壁 化粧ボード 壁 モルタル
  - 天井 スレートボード、化粧PB
  - 床シート、カーペット
  - セメント円筒
  - ☆ 巾木
  - サッシ廻りシール材

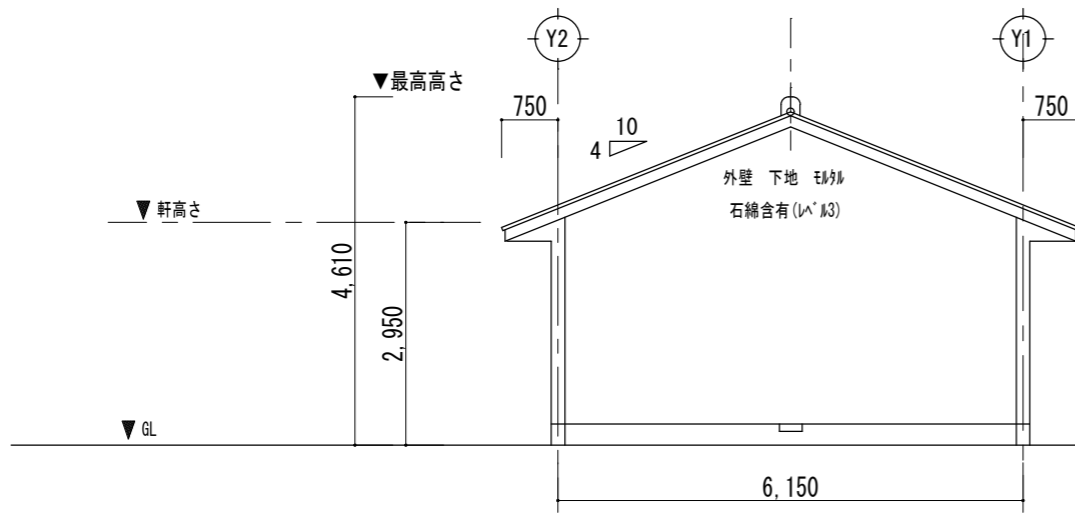
昭和45年度建設 49号~50号	DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
	DATE	R08.01.30	令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事	平面図(2世帯) S45 49号から50号	A - 10
				SCALE	A3 S=1/60



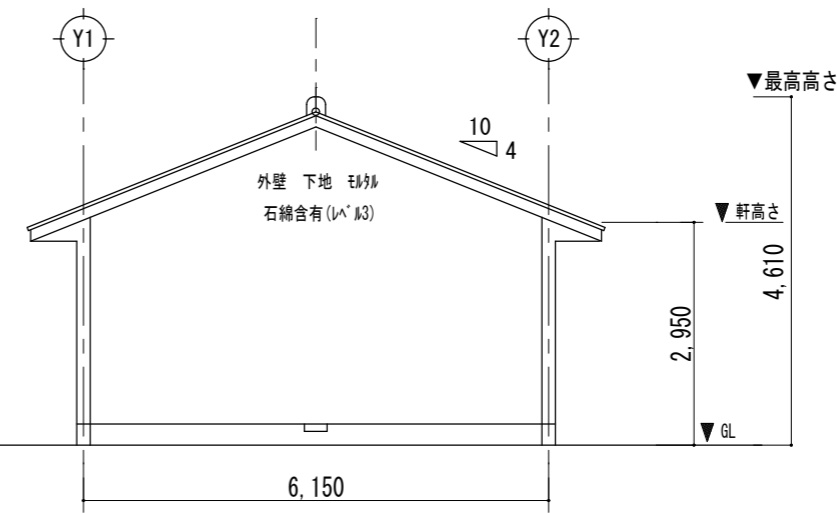
			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事	MAP NAME	MAP NO. A-11
			DATE	R08.01.30		平面詳細図	
						SCALE	A3 S=1/50



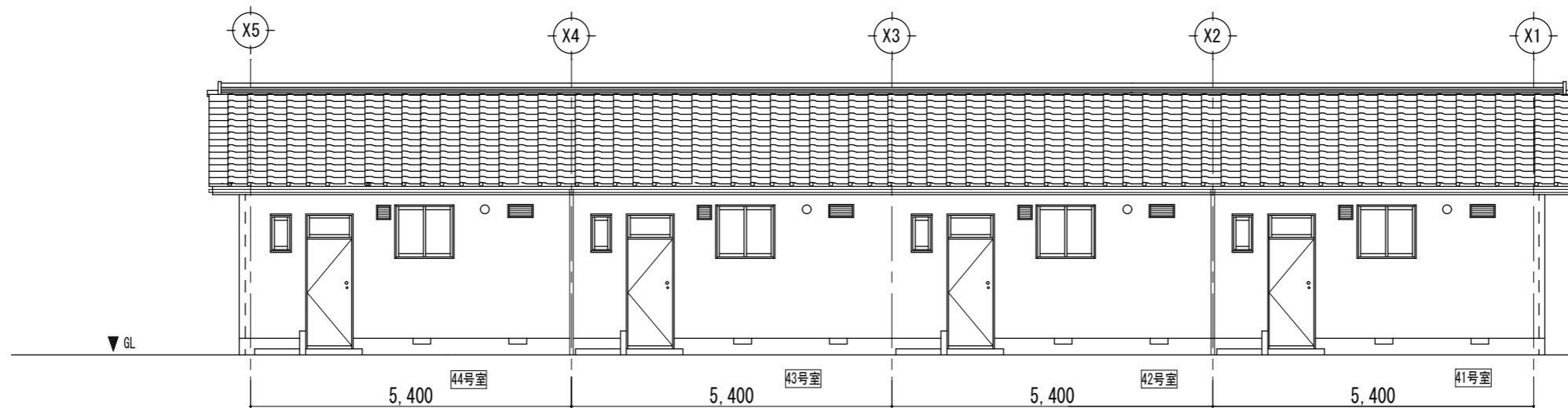
南側立面図 S = 1 : 100



西側立面図 S = 1 : 100



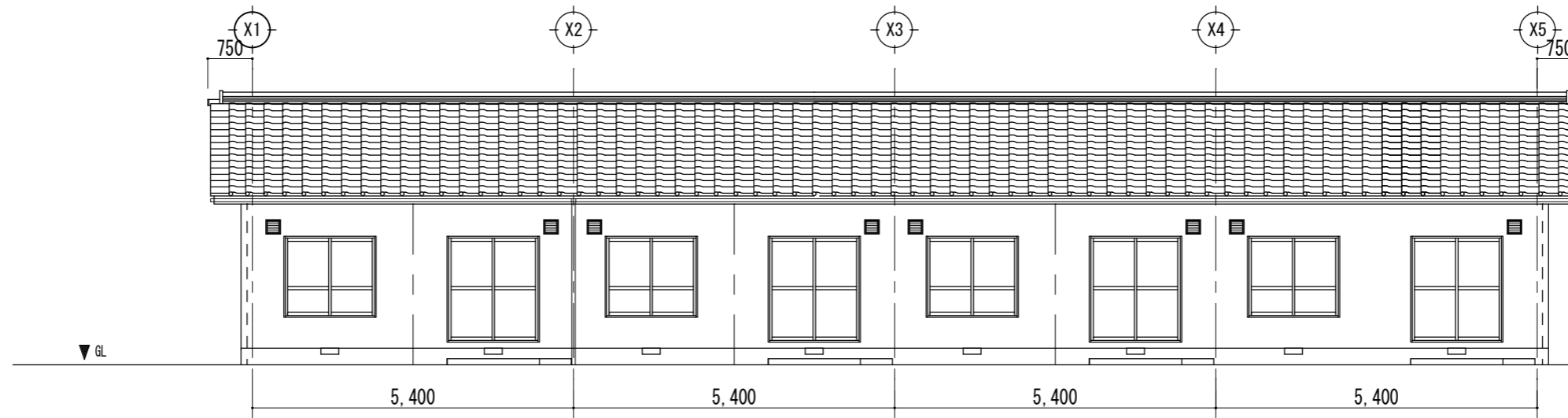
東側立面図 S = 1 : 100



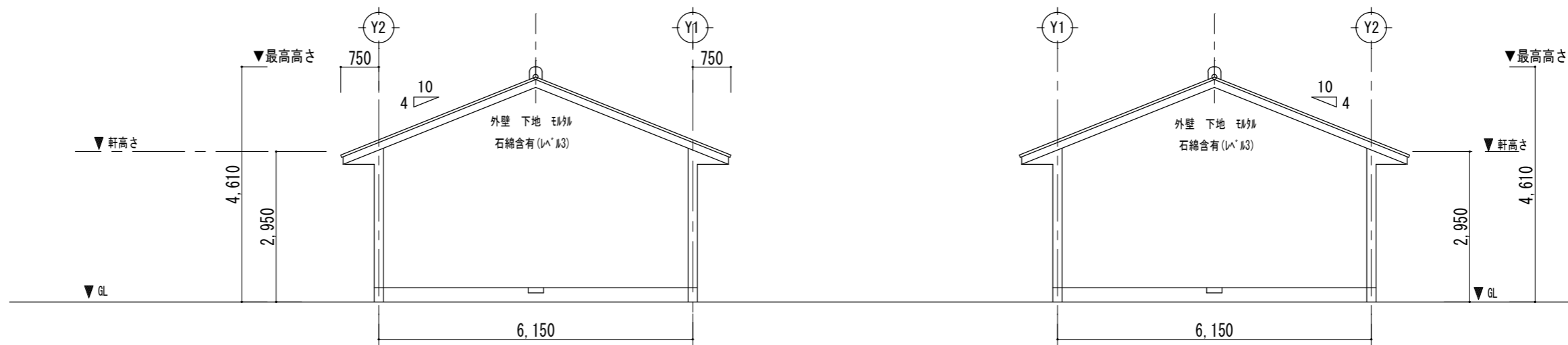
北側立面図 S = 1 : 100

- 外部 石綿建材（共通） $\text{A}^{\text{B}}$  #3相当
- ・外壁 リン
  - ・軒天 セメント板 みなし
  - ・浴室外 煙突 みなし
  - ・基礎（垂直面）
  - ・基礎（床面）
  - ・サッシコキング

	昭和45年度建設 41号~44号	DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事	MAP NAME 立面図（4世帯） S45 41号から44号	MAP NO. A-12		
							DATE R08.01.30	SCALE A3 S=1/100

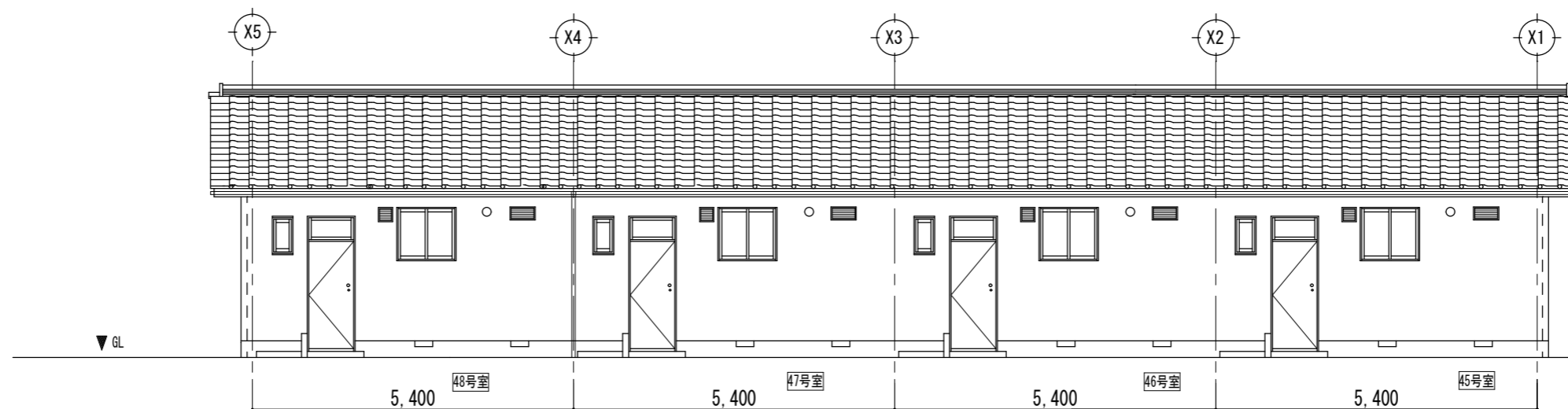


南側立面図 S = 1 : 100



西側立面図 S = 1 : 100

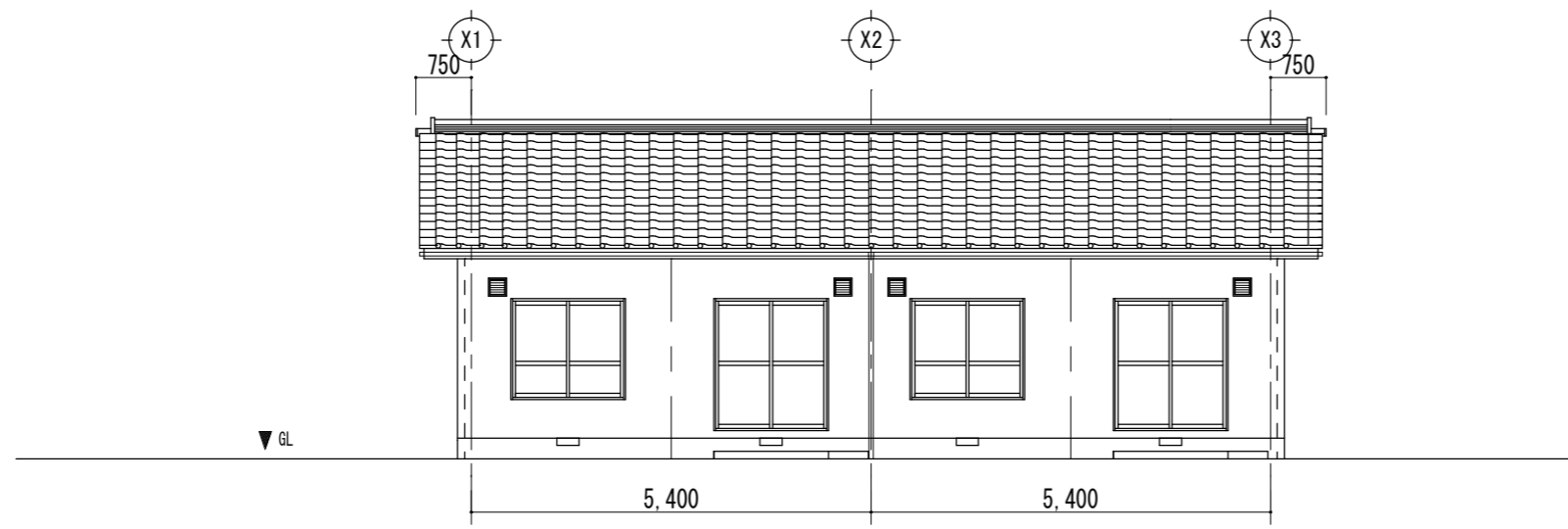
東側立面図 S = 1 : 100



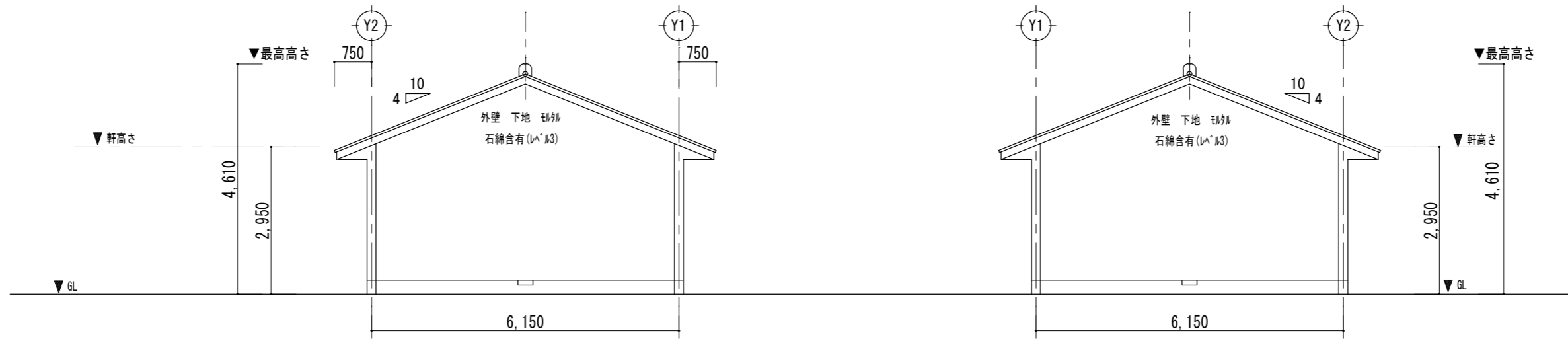
北側立面図 S = 1 : 100

- 外部 石綿建材 (共通) 1/100相当
- ・外壁 リン
  - ・軒天 セメント板 みなし
  - ・浴室外 煙突 みなし
  - ・基礎 (垂直面)
  - ・基礎 (床面)
  - ・サッシコーキング

昭和45年度建設 45号~48号		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事	MAP NAME 立面図 (4世帯) S45 45号から48号	MAP NO. A-13	
		DATE R08.01.30					SCALE A3 S=1/100

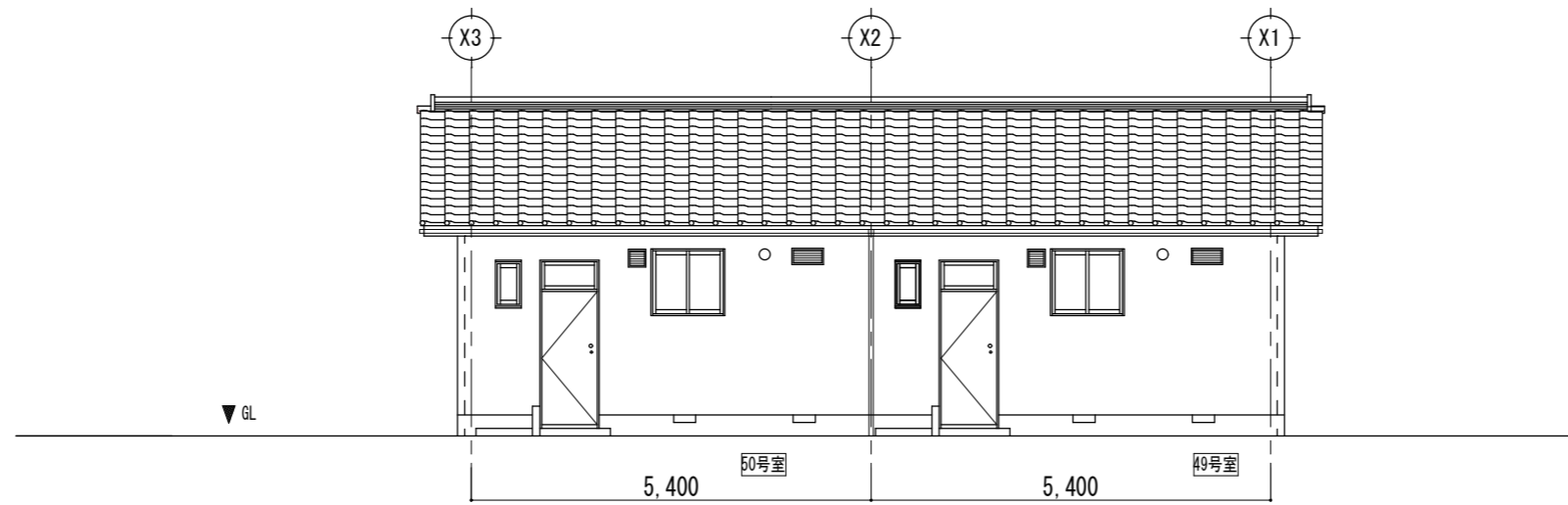


南側立面図 S = 1 : 100



西側立面図 S = 1 : 100

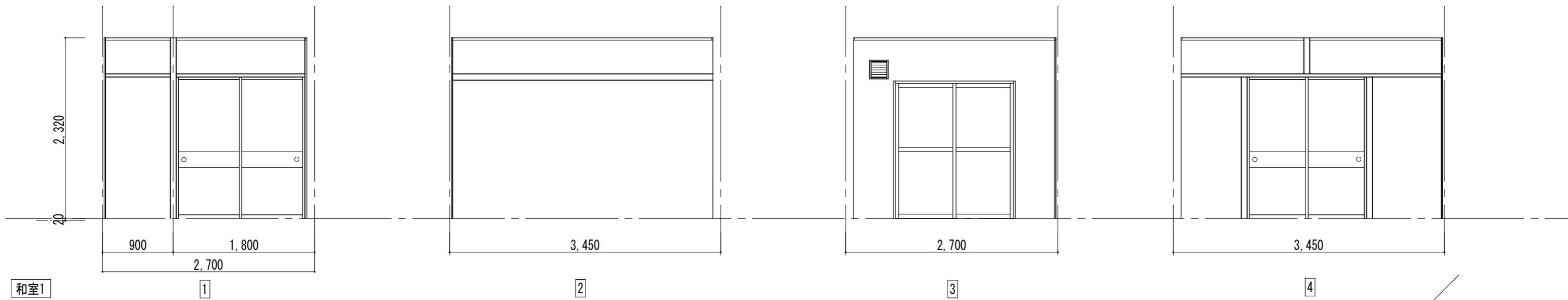
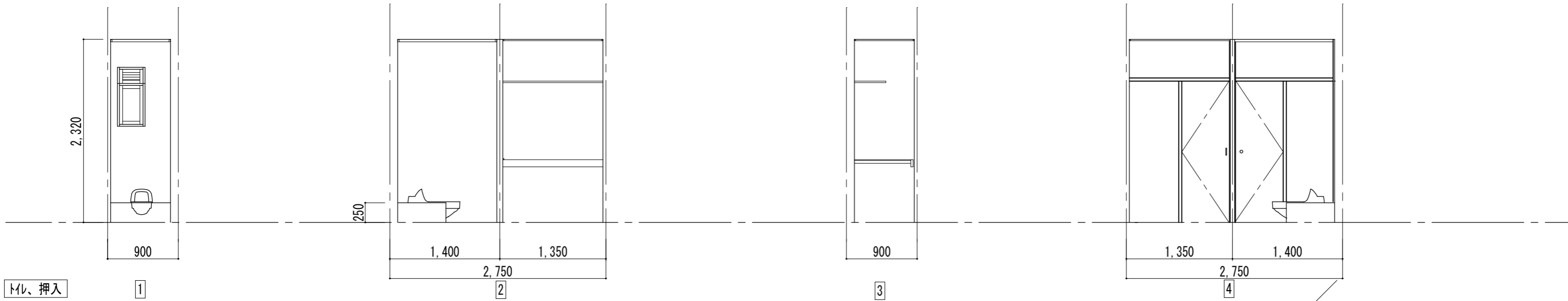
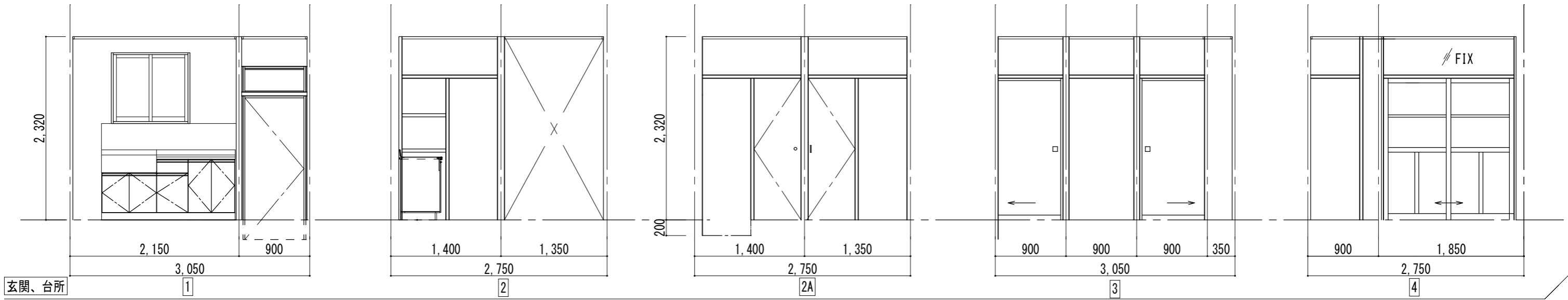
東側立面図 S = 1 : 100



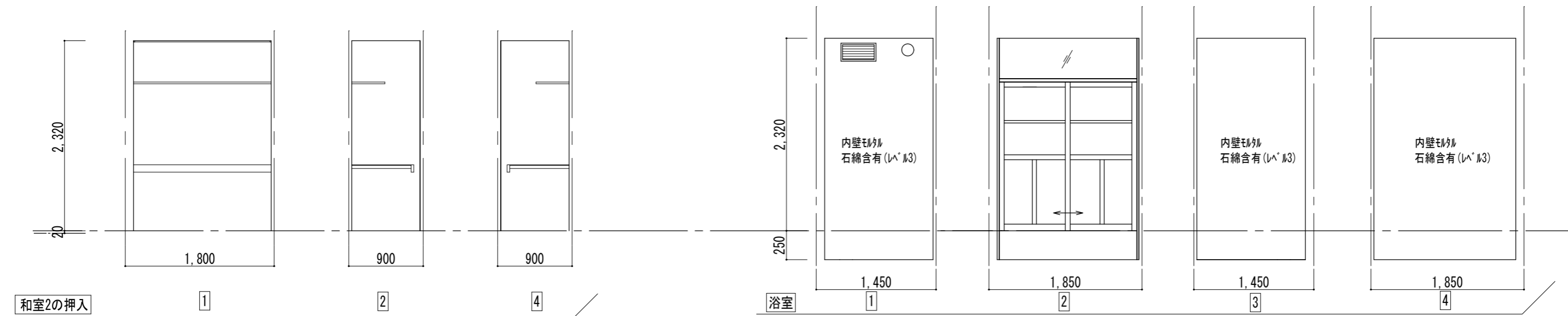
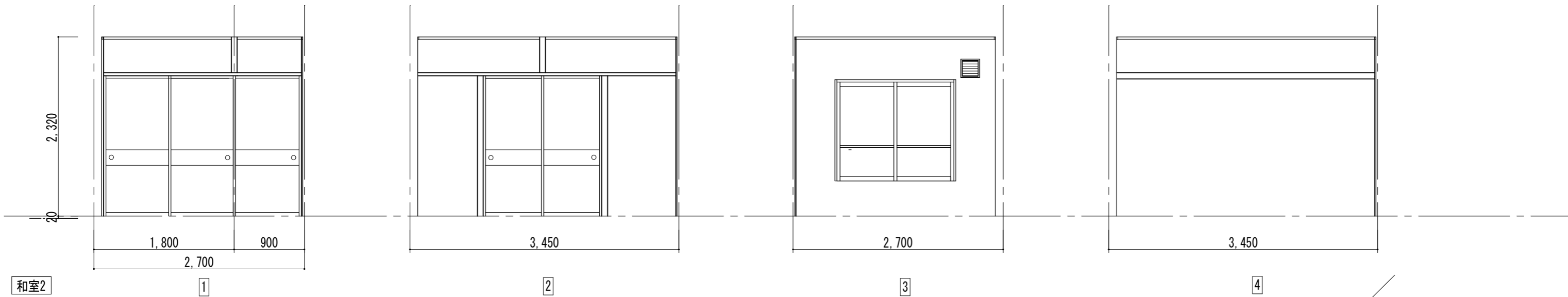
北側立面図 S = 1 : 100

- 外部 石綿建材 (共通) 1/1000相当
- ・外壁 リン
  - ・軒天 セメント板 みなし
  - ・浴室外 煙突 みなし
  - ・基礎 (垂直面)
  - ・基礎 (床面)
  - ・サッシコーキング

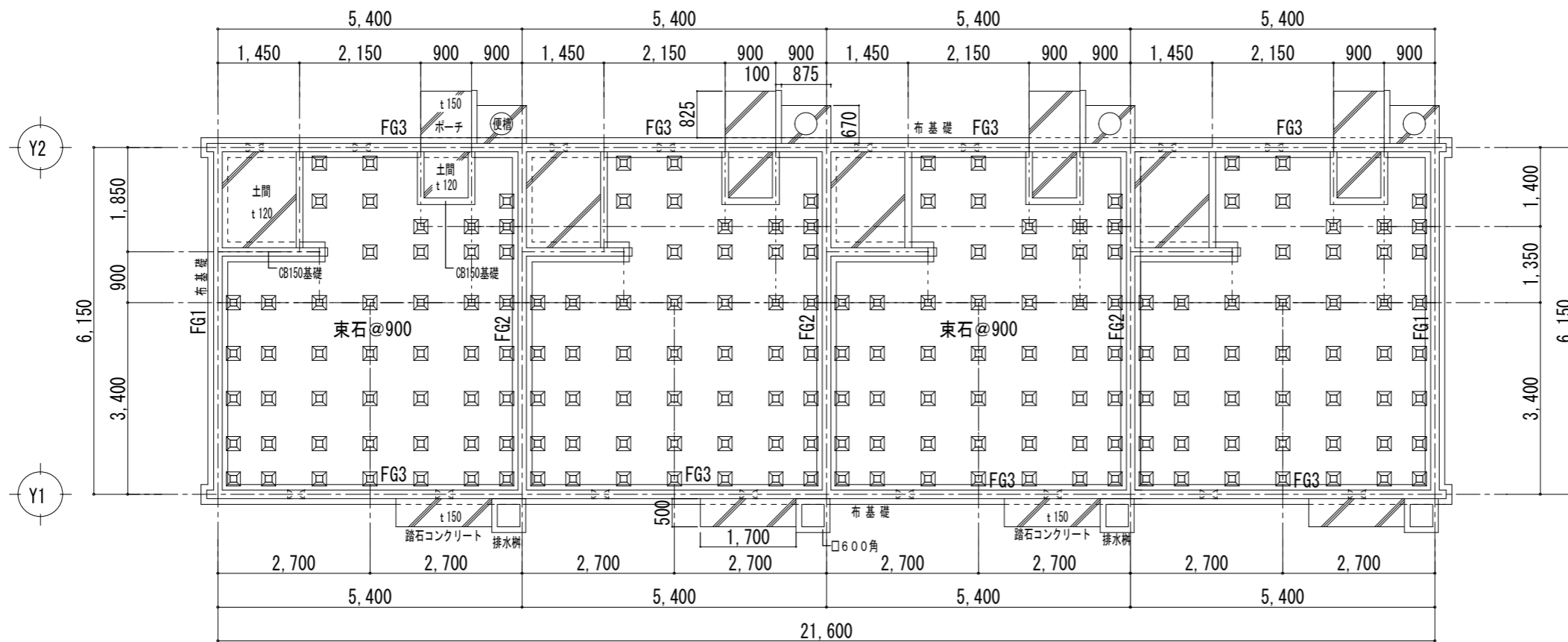
	昭和45年度建設 49号~50号	DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事	MAP NAME	MAP NO. A-14
					立面図 (2世帯) S45 49号から50号	
	DATE R08.01.30				SCALE A3 S=1/100	



			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事	MAP NAME	MAP NO. A-15
			DATE	R08.01.30		SCALE	

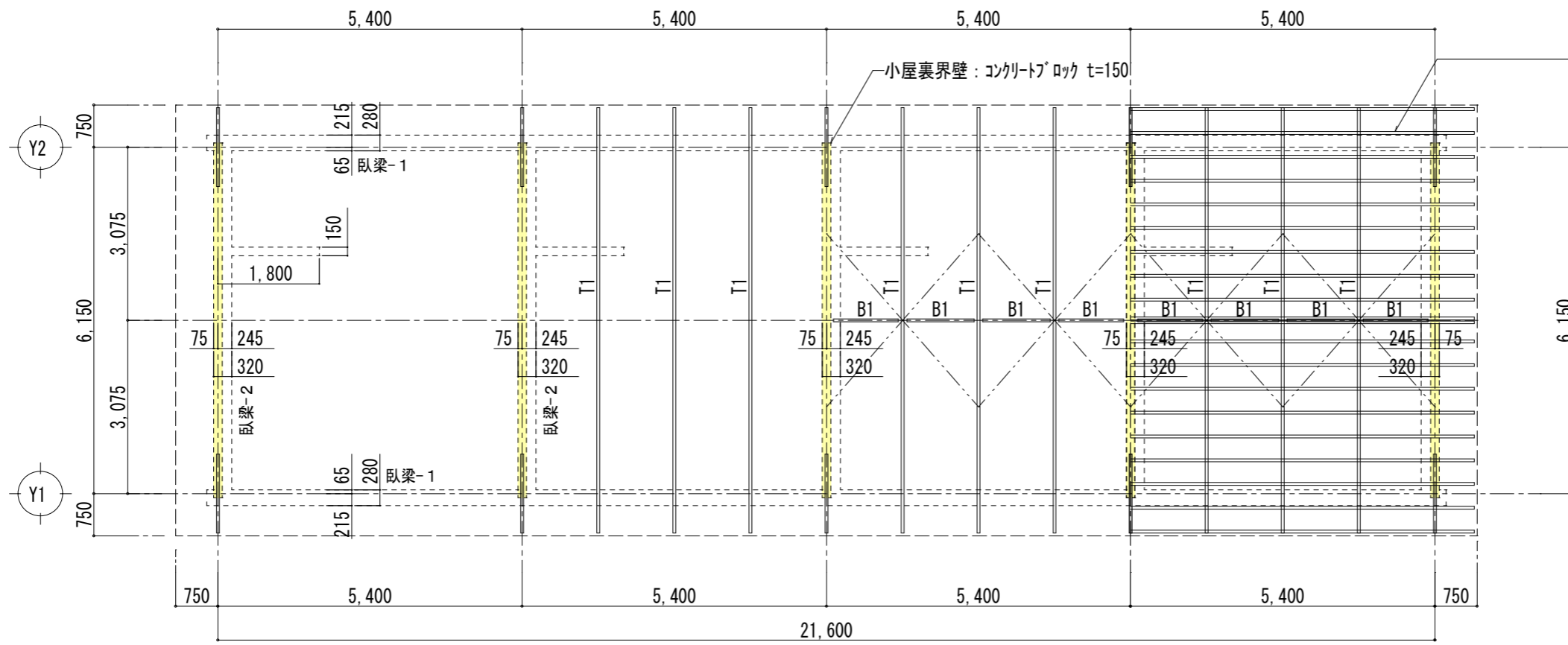


			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事	MAP NAME	MAP NO. A-16
			DATE R08.01.30	SCALE A3 S=1/50		展開図2	



X1 X2 X3 X4 X5

基礎伏図 S = 1 : 100

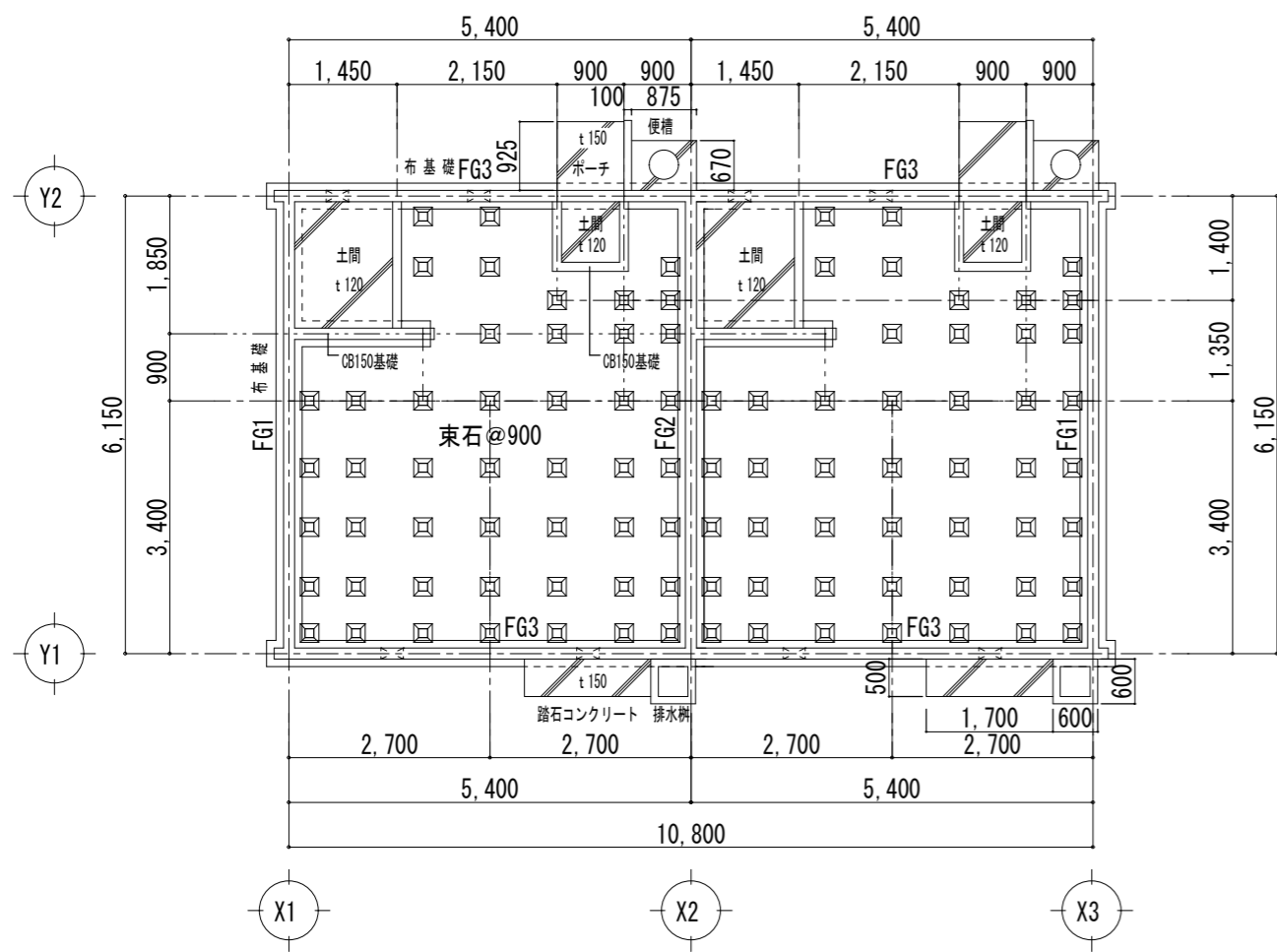


X1 X2 X3 X4 X5

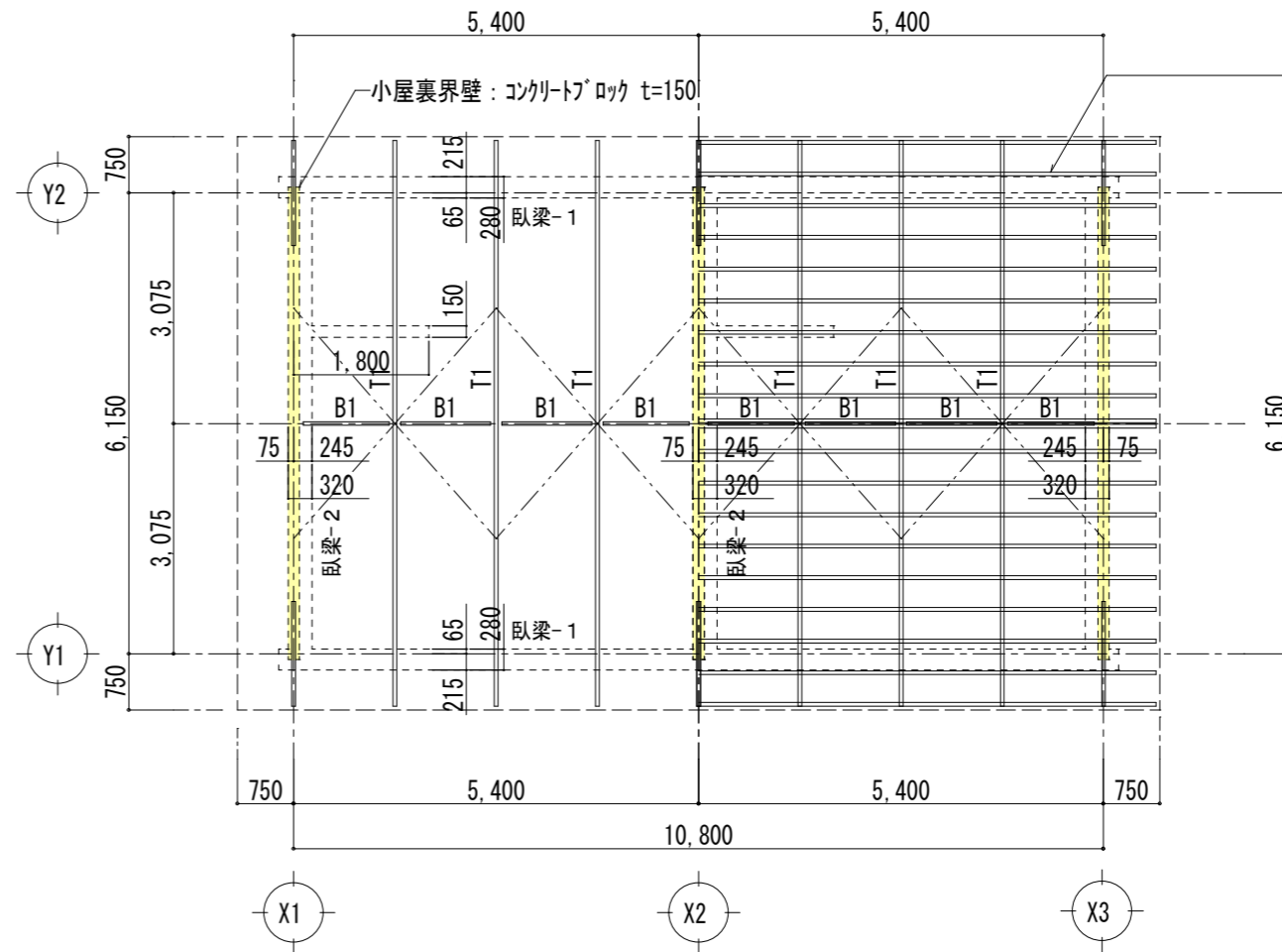
小屋伏図 S = 1 : 100

屋根下地  
 横垂木: 45x45@450  
 野地板: 柄板 t=12  
 破風板: 木 145x25

昭和45年度建設 41号~44号 昭和45年度建設 45号~48号	DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME		MAP NAME	MAP NO.
			令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事			
	DATE		SCALE			
	R08.01.30		S=1/100			



基礎伏図 S = 1 : 100

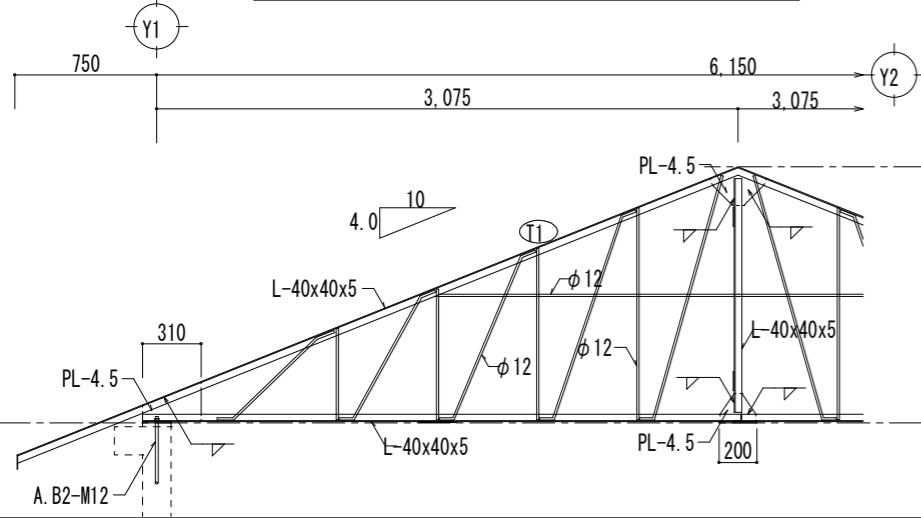


屋根下地  
 横垂木: 45x45@450  
 野地板: 柄板 t=12  
 破風板: 木 145x25

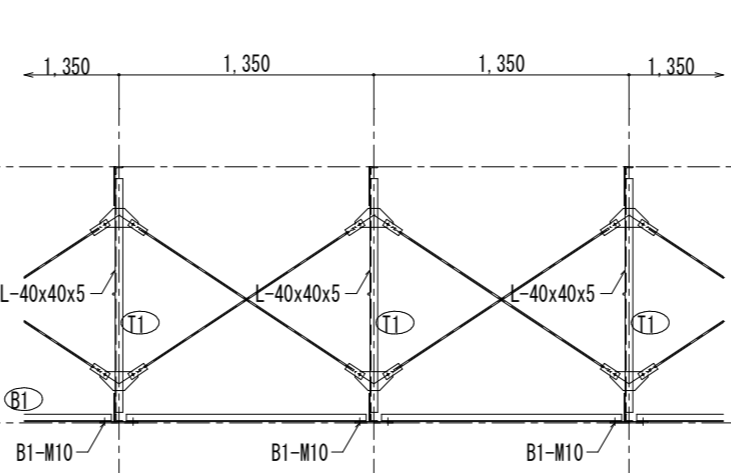
小屋伏図 S = 1 : 100

	昭和45年度建設 49号~50号	DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.	
					令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事		基礎伏図・小屋伏図 (2世帯)
					DATE		SCALE
		R08.01.30		S=1/100	A-18		

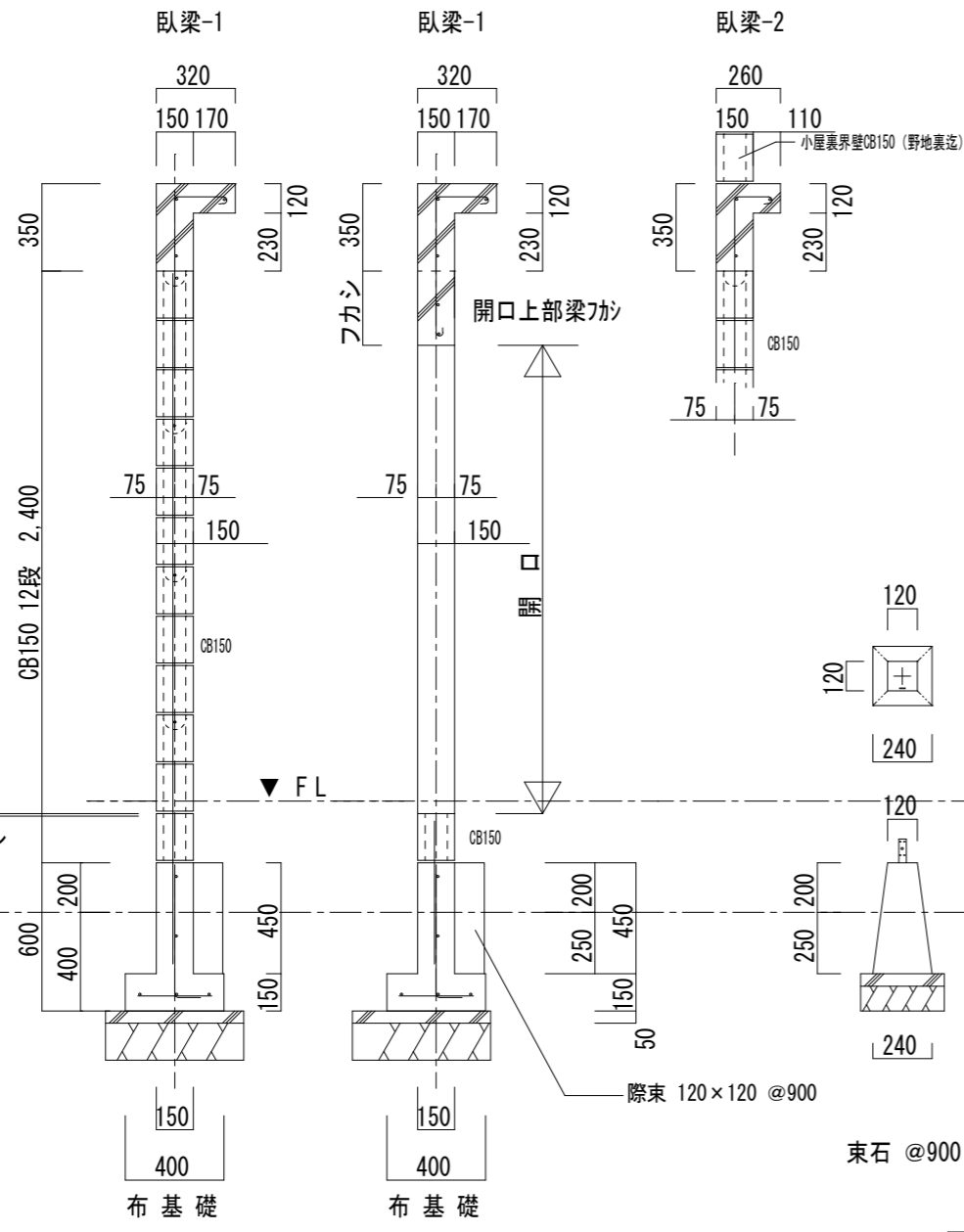
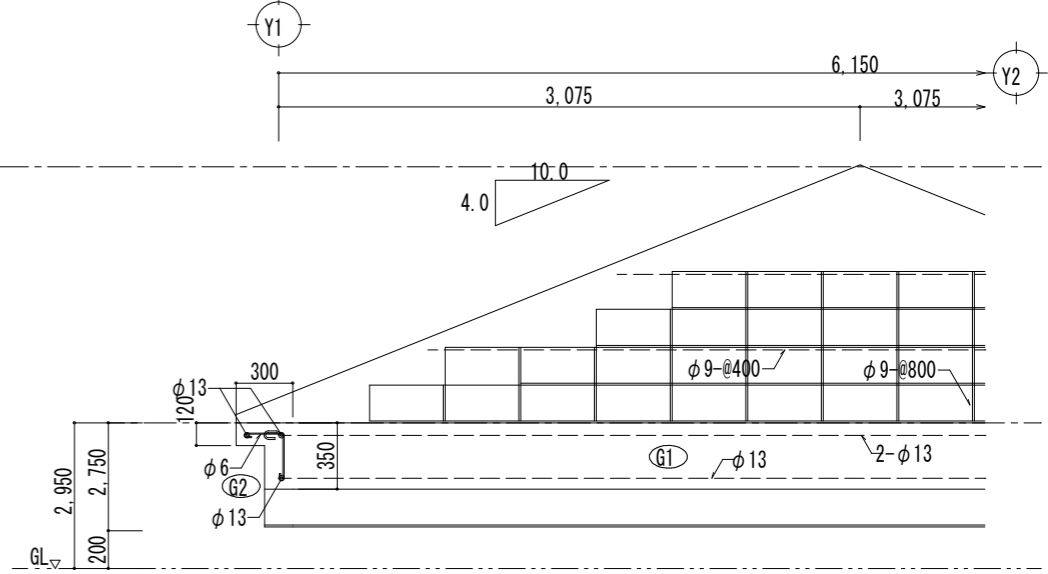
小屋梁フレーム図 S = 1 : 40



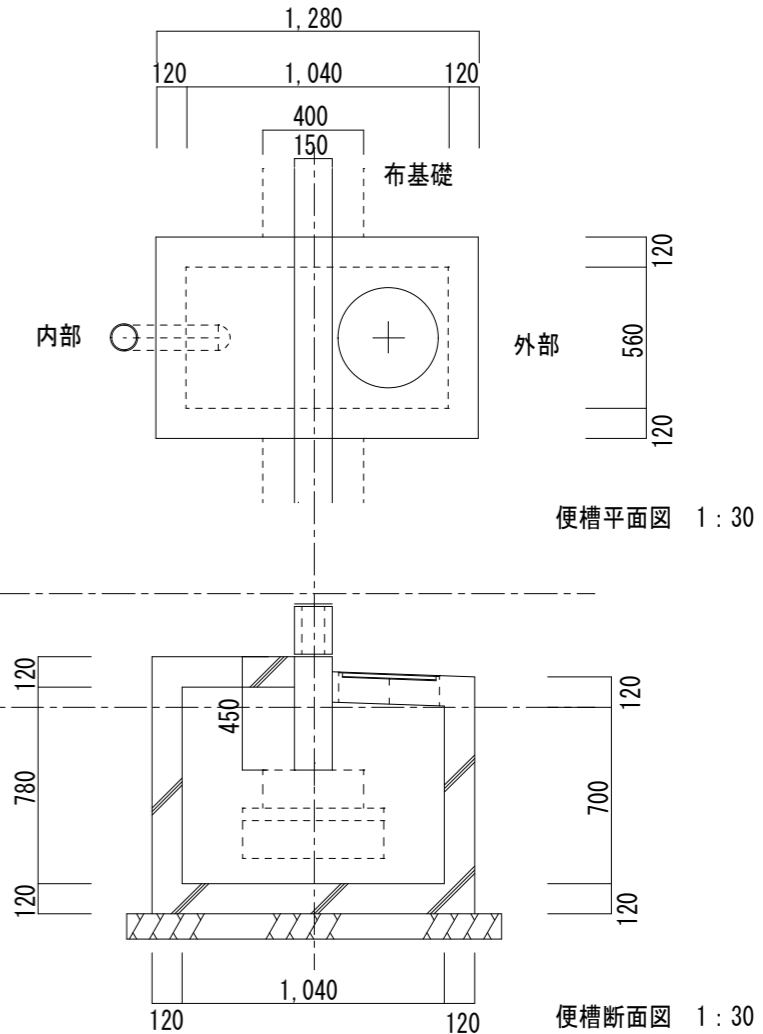
小屋フレーム図 S = 1 : 40



小屋裏CB界壁図 S = 1 : 40



基礎躯体詳細図 S = 1 : 30



昭和45年度建設 41号~44号 昭和45年度建設 45号~48号 昭和45年度建設 49号~50号	DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事	MAP NAME	MAP NO. A-19
	基礎躯体詳細図・小屋梁図	SCALE		S=1/100	
	DATE R08.01.30				

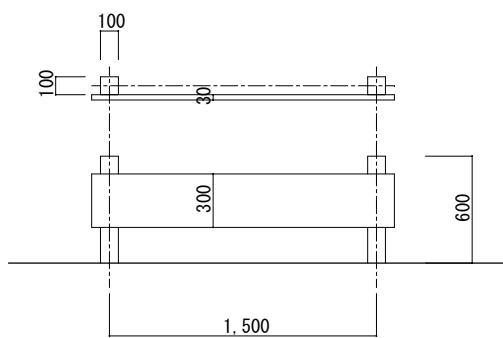


既存外構図



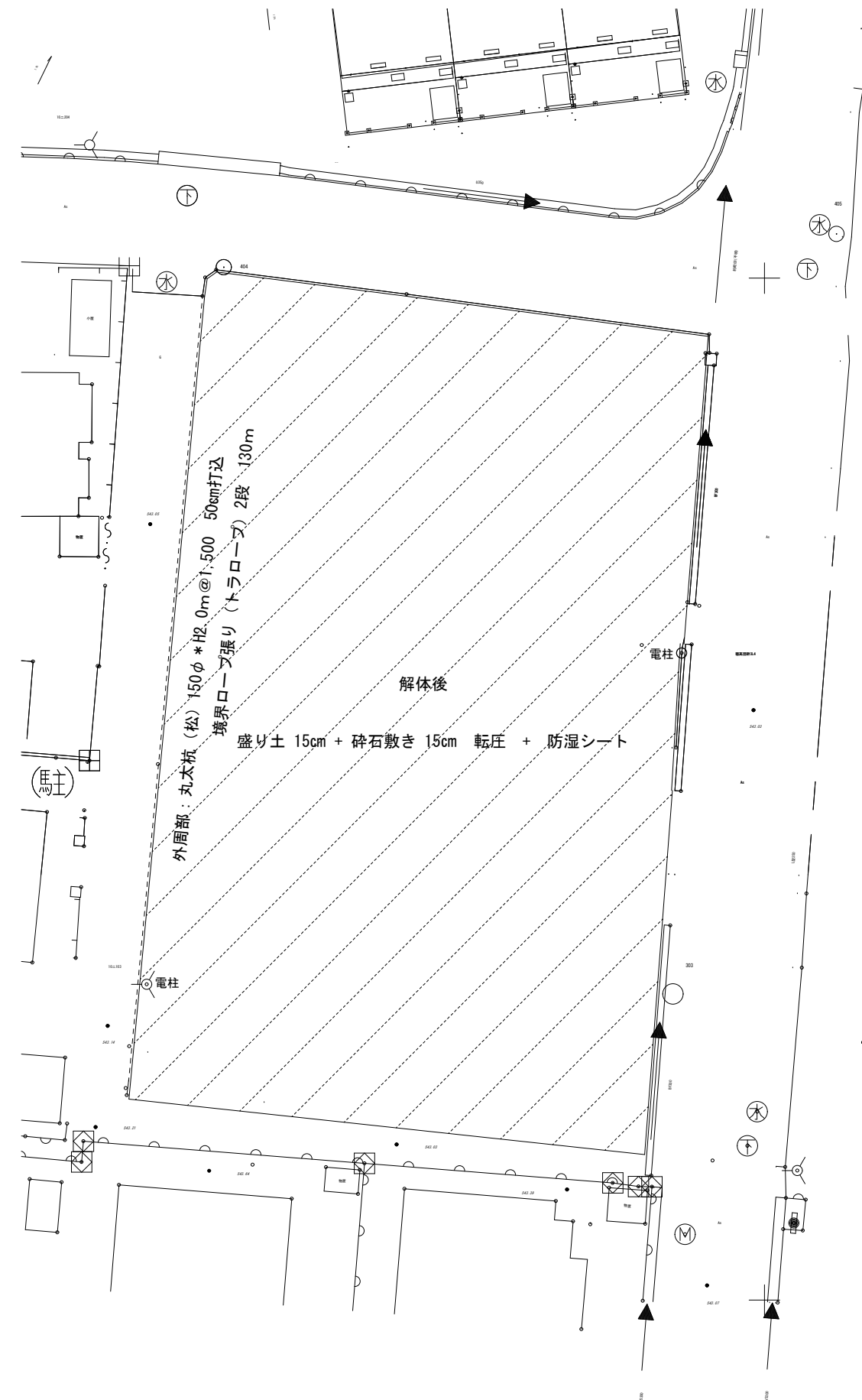
- A : コンクリート塀 104.5m 撤去・処分
- B : U字溝U300 74.1m 撤去・処分 (グレーチング・コンクリート蓋共)
- C : 排水樹口250角 20箇所 撤去・処分 (コンクリート蓋共)
- D : 排水樹 W1.0m\*0.6m H1.0m 撤去・処分 (鉄蓋共)
- E : 雑排水槽 W1.2m\*0.6m H1.0m 撤去・処分 (鉄蓋共)

- 樹木
- あ : 900φ \* H3.5m 撤去・処分
- い : 400φ \* H3.5m 撤去・処分
- う : 900φ \* H4.0m 撤去・処分
- え : 200φ \* H3.0m 撤去・処分



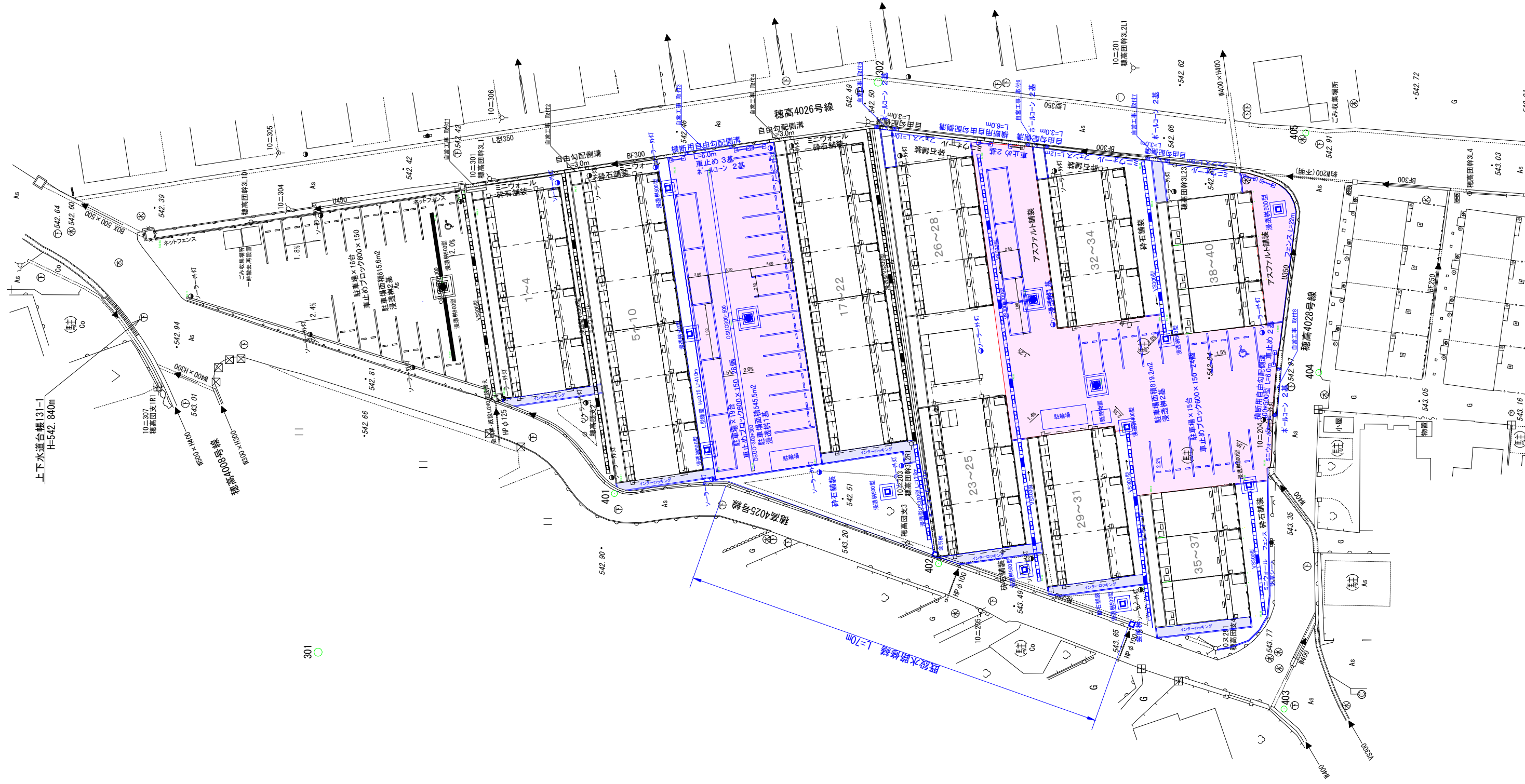
A コンクリート塀 立面図・平面図 S=1/30

- 解体後
- 宅内 : 盛り土 15cm + 砕石敷き 15cm 転圧 995.6㎡
- 外周部 : 丸太杭 (松) 150φ \* H2.0m@1,500 50cm打込
- 境界ロープ張り (トラロープ) 2段 130m
- ※道路敷き 4m確保



改修外構図

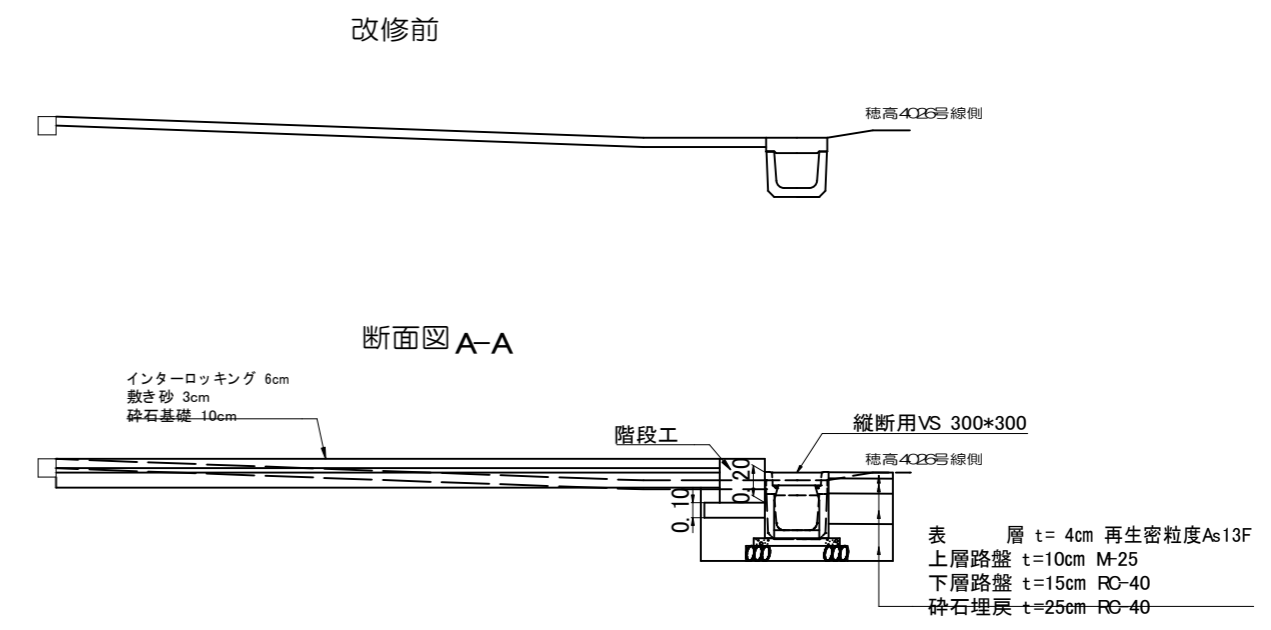
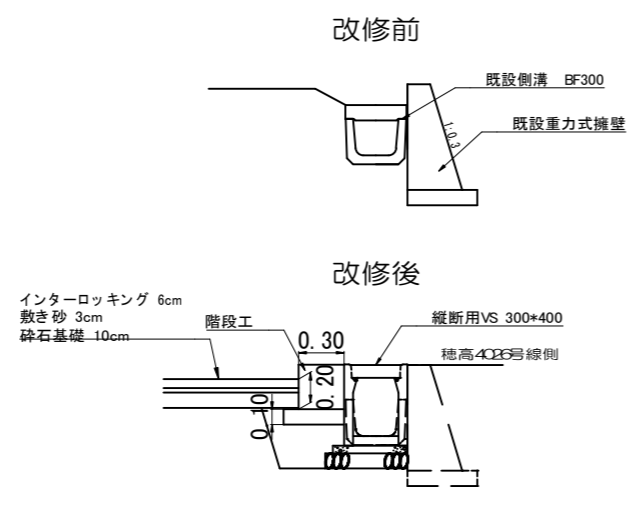
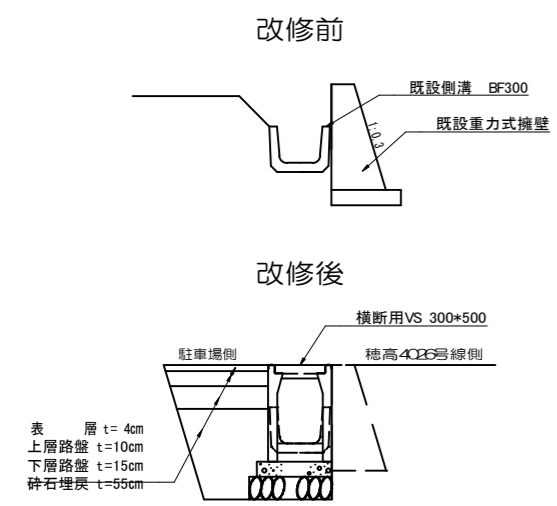
			DRAW R08.01.30	CHECK CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅穂高団地 除却及び建物付属整備工事	MAP NAME 外構図	MAP NO. A-20
					SCALE S=1/100	



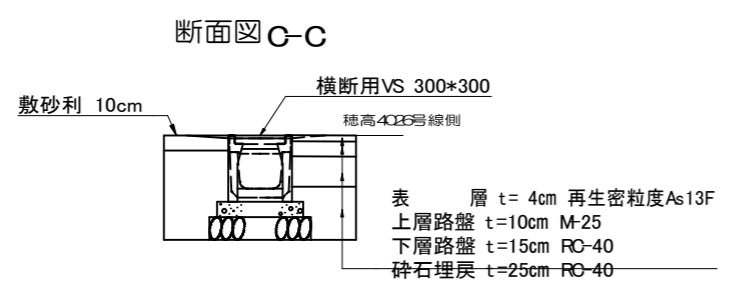
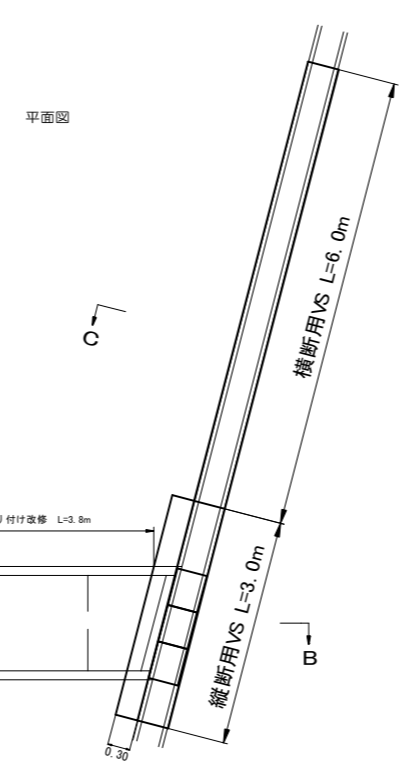
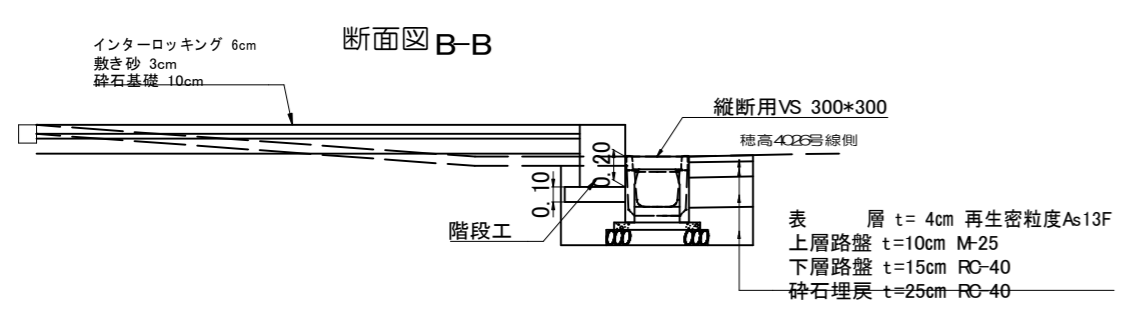
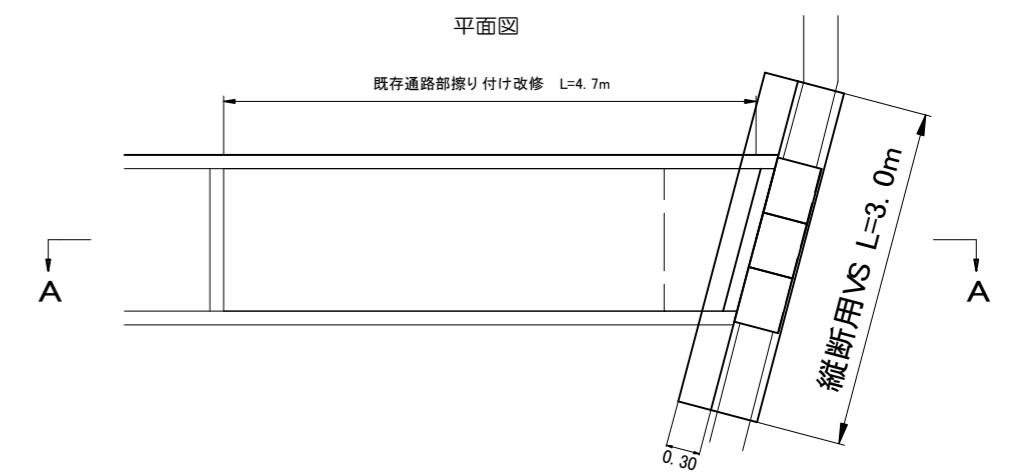
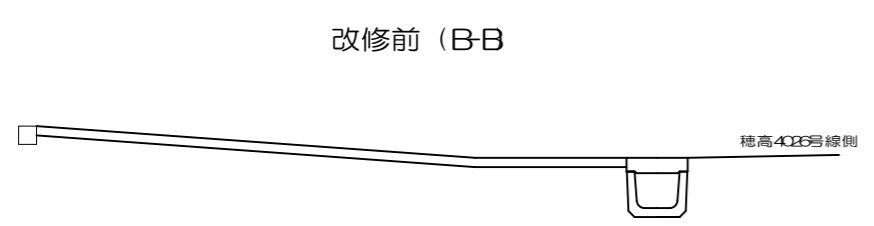
自営工事 取付3

自営工事 取付4

自営工事 取付5

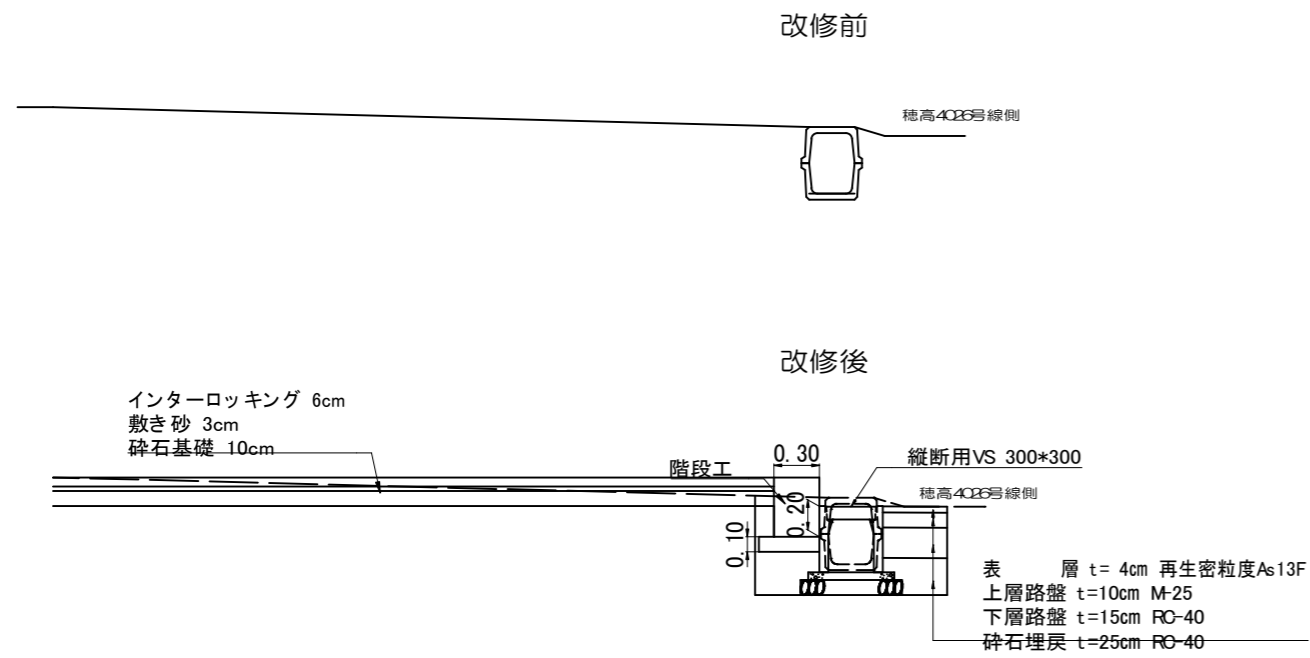


自営工事 取付6

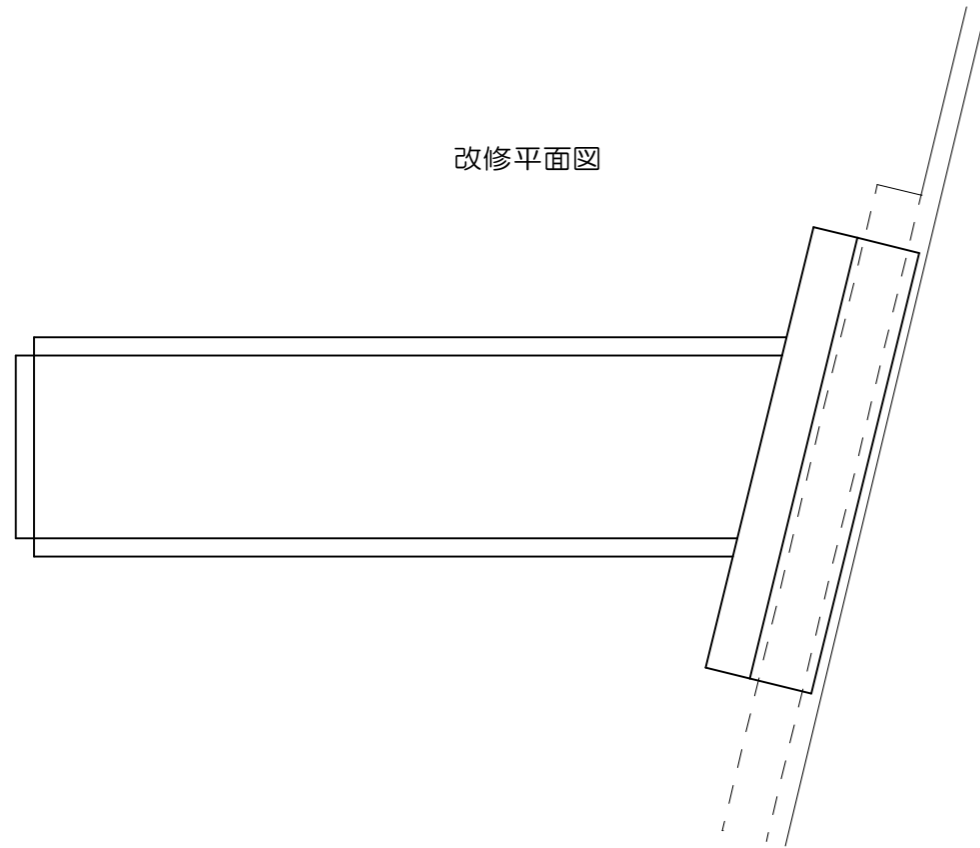


DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
			SCALE	
DATE	08.02.24	令和8年度 市営住宅穂高団地除却 及び建物付属整備工事	自営工事	G - 02
			A3-1/50	

自営工事 取付7

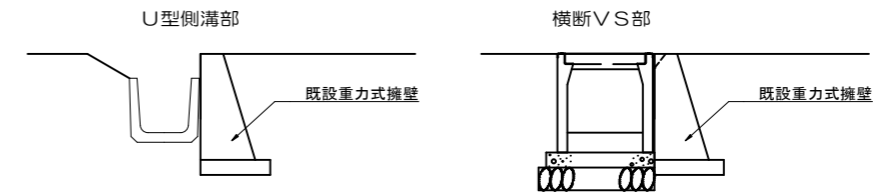


改修平面図

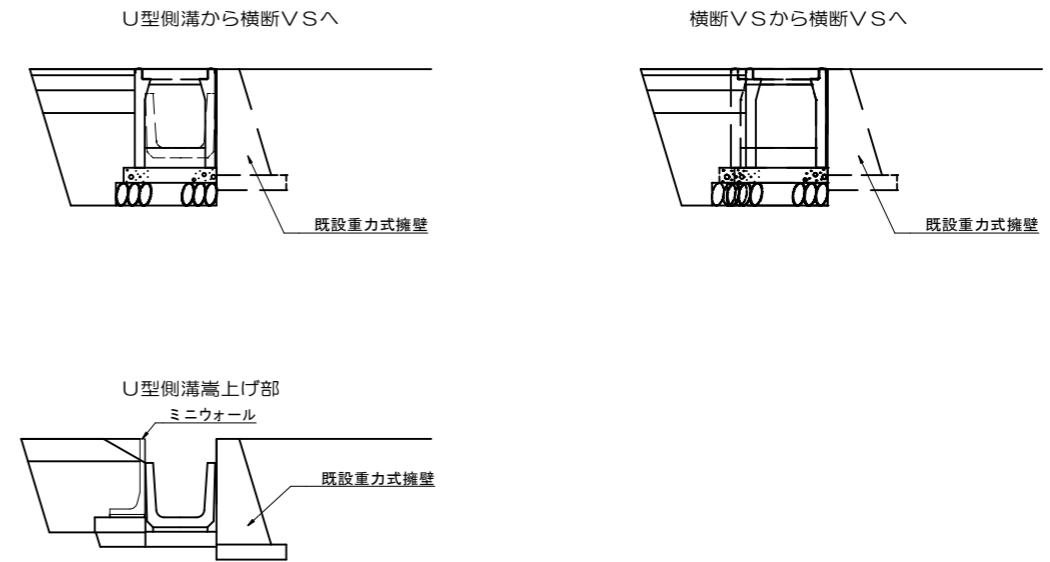


自営工事 取付8

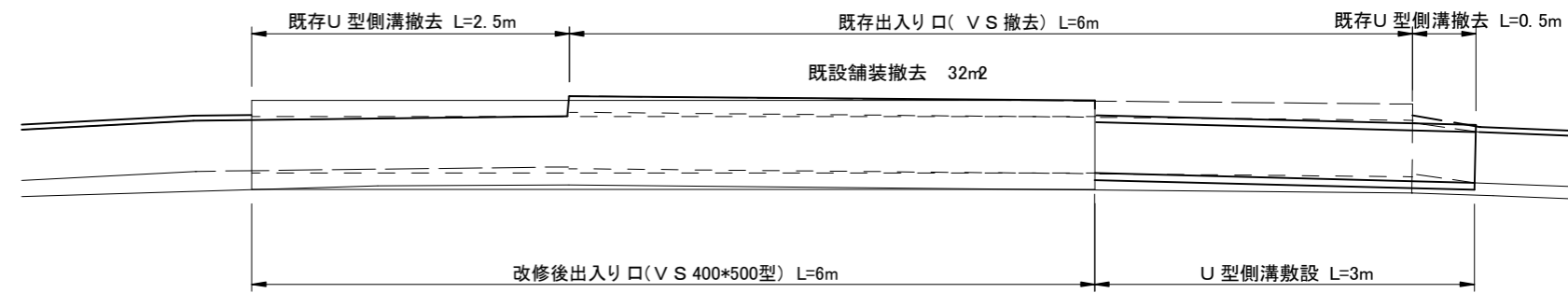
改修前



改修後



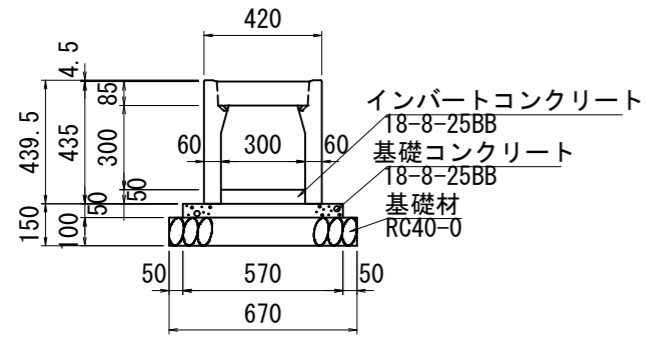
改修平面図



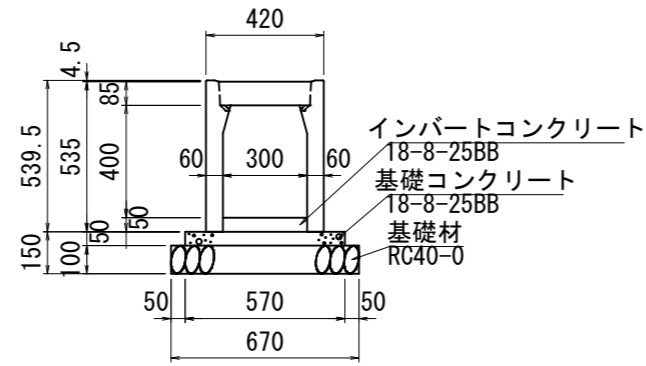
DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
		令和8年度 市営住宅穂高団地除却 及び建物付属整備工事	自営工事	G - 03
DATE			SCALE	
08.02.24			A3-1/50	

縦断用

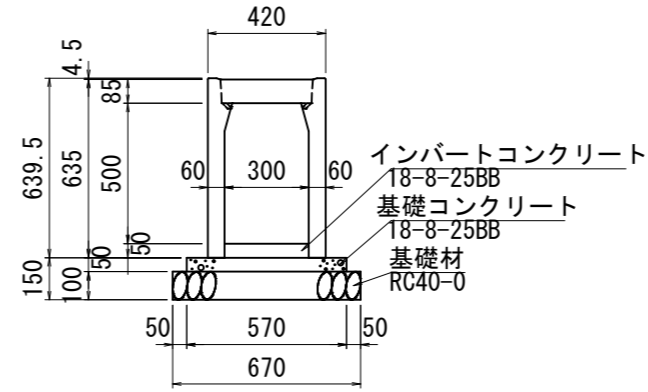
300 × 300



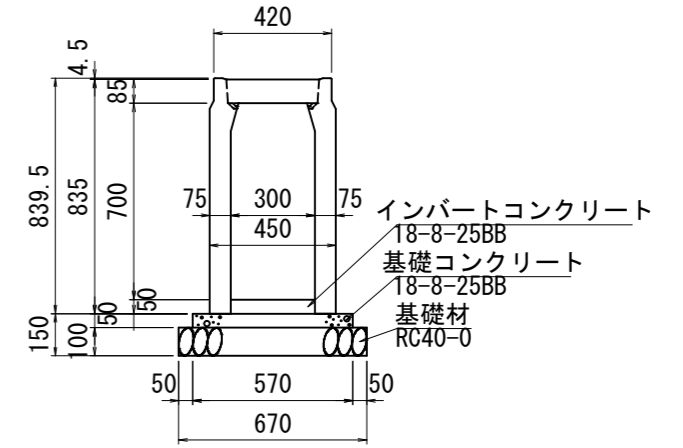
300 × 400



300 × 500

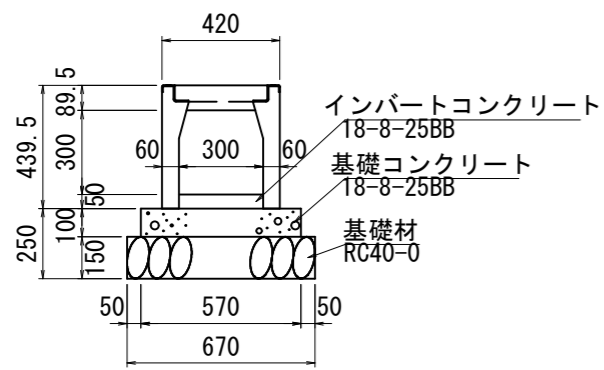


300 × 700

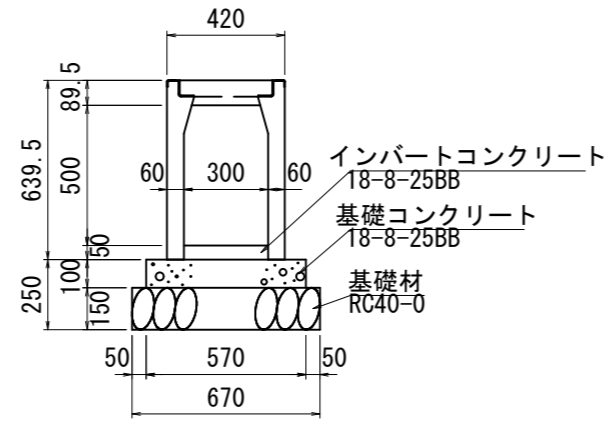


横断用

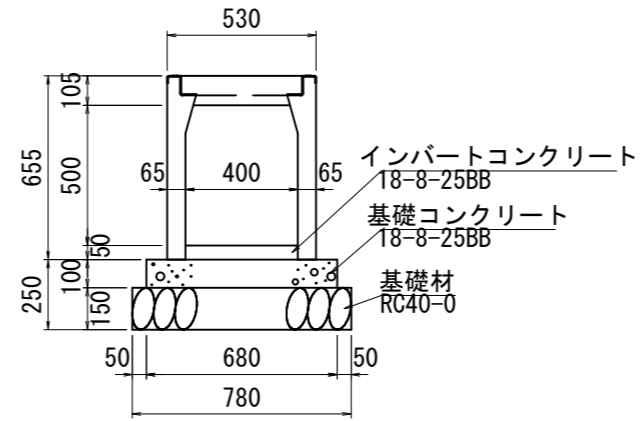
300 × 300



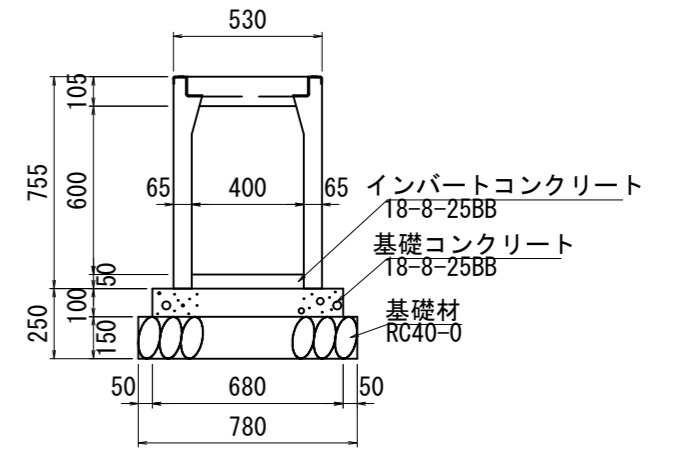
300 × 500



400 × 500



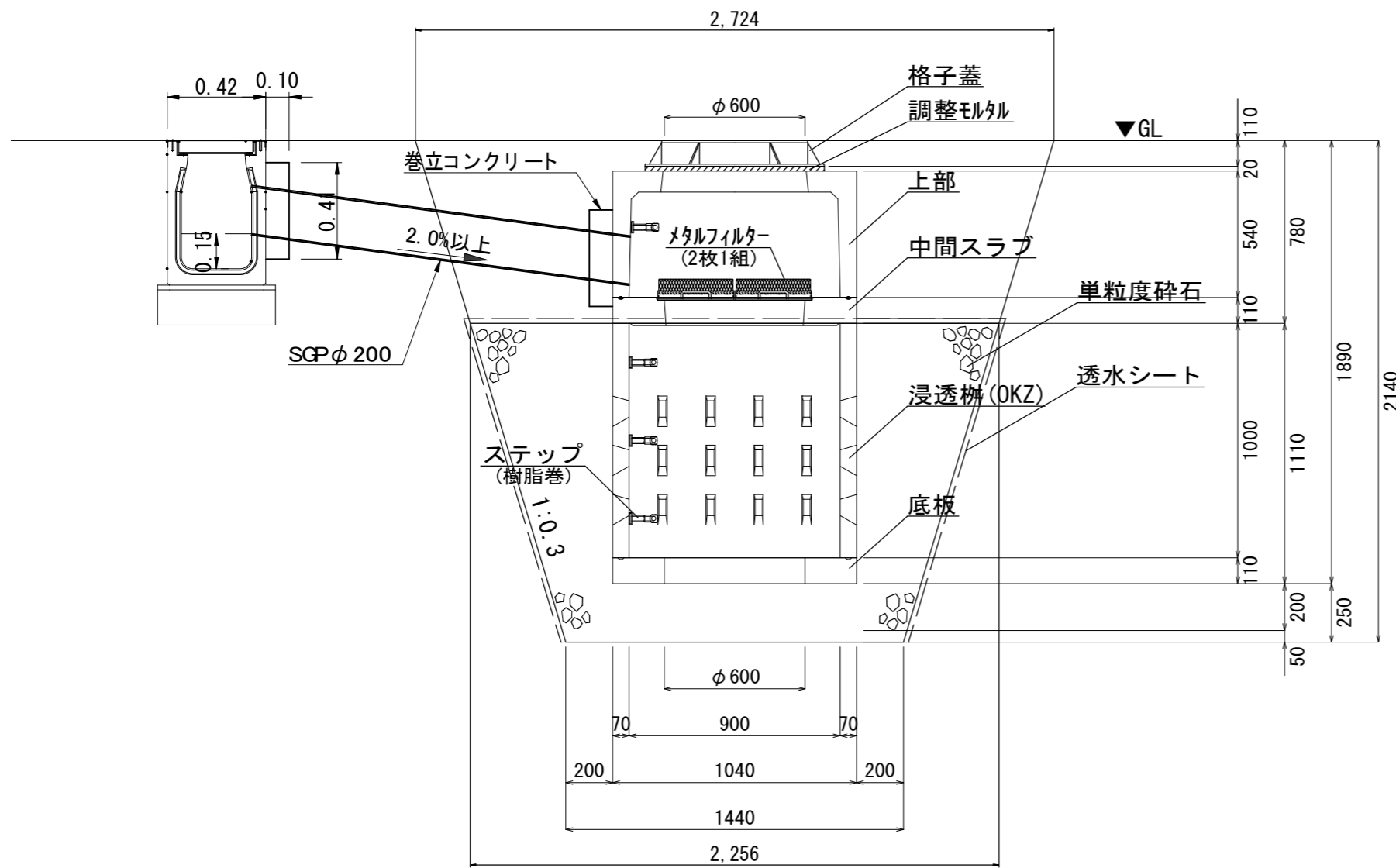
400 × 600



DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
		令和8年度 市営住宅穂高団地除却 及び建物付属整備工事	構造図	G - 04
DATE		SCALE		
08 02 24		A3-1/50		

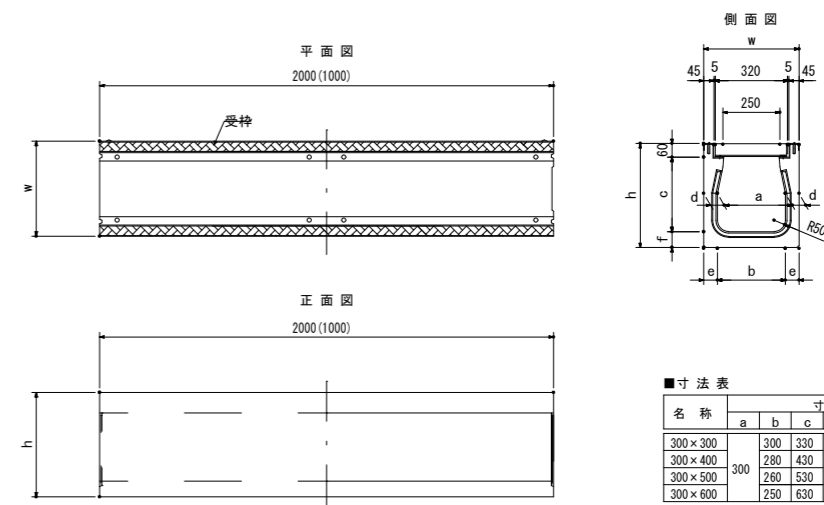
OSU0300\*900

浸透柵900型



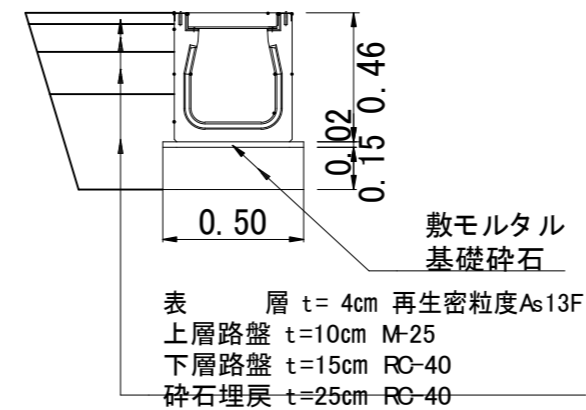
OSU300製品図

OSU横断側溝300 構造図



名称	寸法(mm)							参考重量(kg)		
	a	b	c	d	e	f	h	w	L2000	L1000
300×300	300	330	60	70	460	403	201			
300×400	280	430	60	70	560	476	238			
300×500	260	530	60	80	670	581	290			
300×600	250	630	85	85	775	673	336			

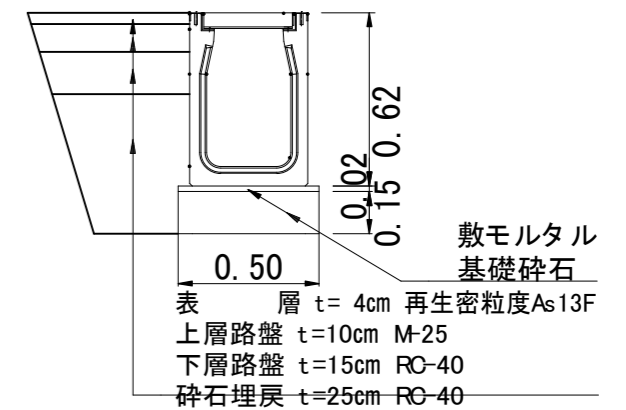
OSU0300\*300断面図



敷モルタル  
基礎碎石

表層 t=4cm 再生密粒度As13F  
上層路盤 t=10cm M-25  
下層路盤 t=15cm RC-40  
碎石埋戻 t=25cm RC-40

OSU0300\*500断面図



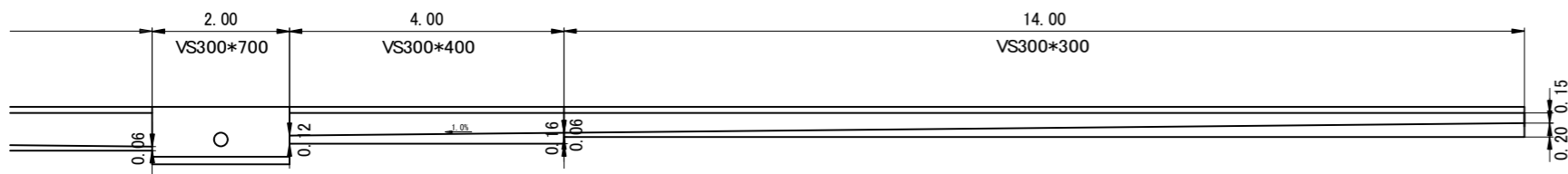
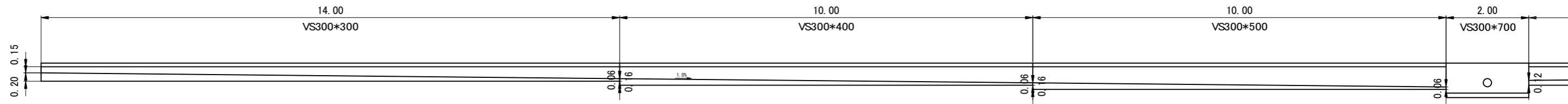
敷モルタル  
基礎碎石

表層 t=4cm 再生密粒度As13F  
上層路盤 t=10cm M-25  
下層路盤 t=15cm RC-40  
碎石埋戻 t=25cm RC-40

DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
SCALE			A3-1/50	

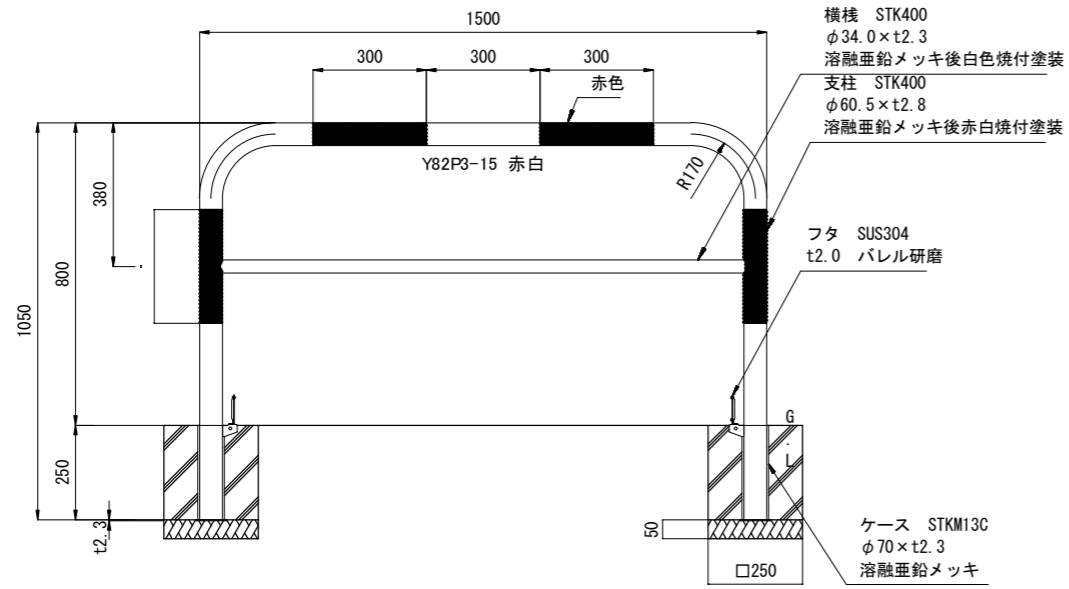


23～28号棟南VS側溝

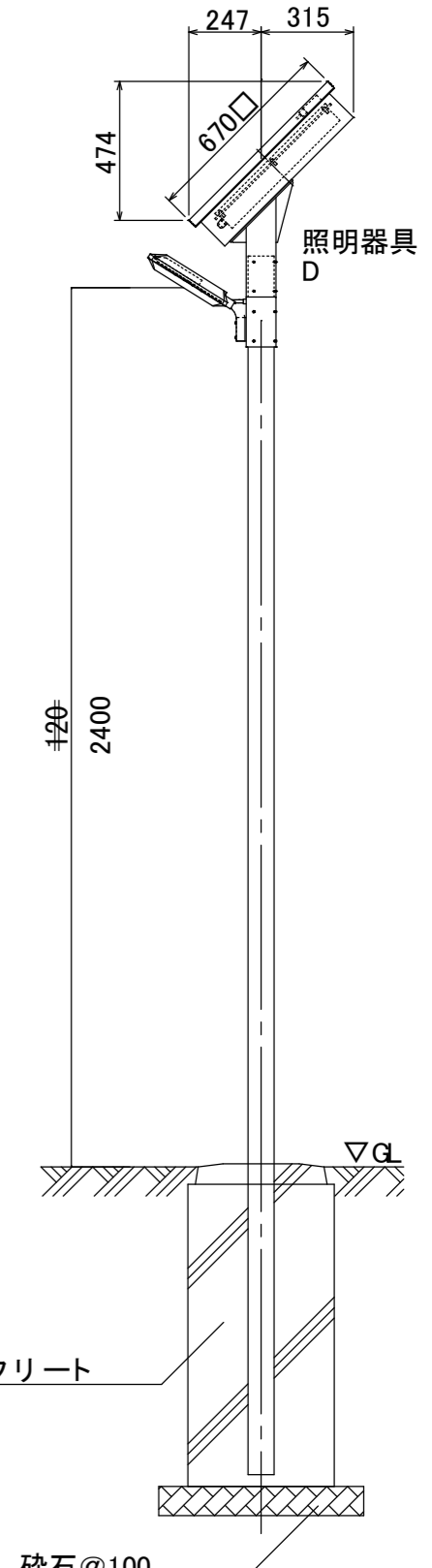
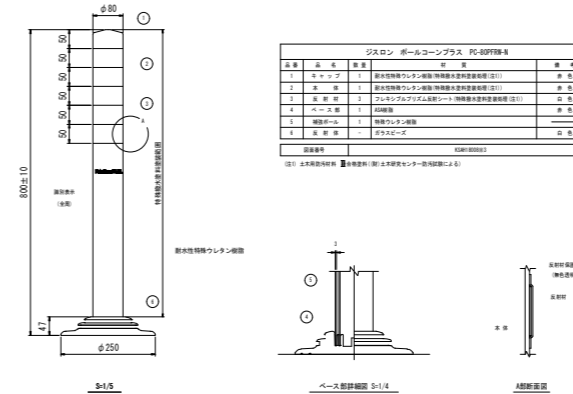


			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅穂高団地除却 及び建物付属整備工事	MAP NAME	MAP NO. G - 07
			DATE 08 02 24			SCALE A3-1/50	

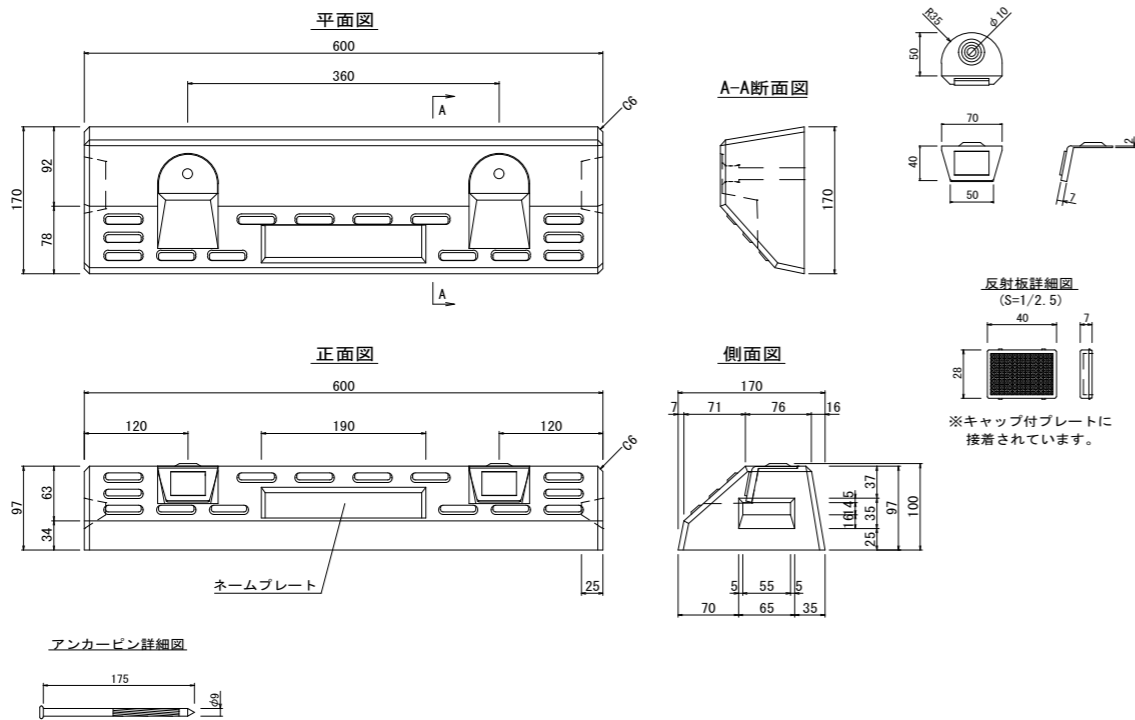
# 車止め



# ポールコーン



## OKパーキング(PC-2) 構造図

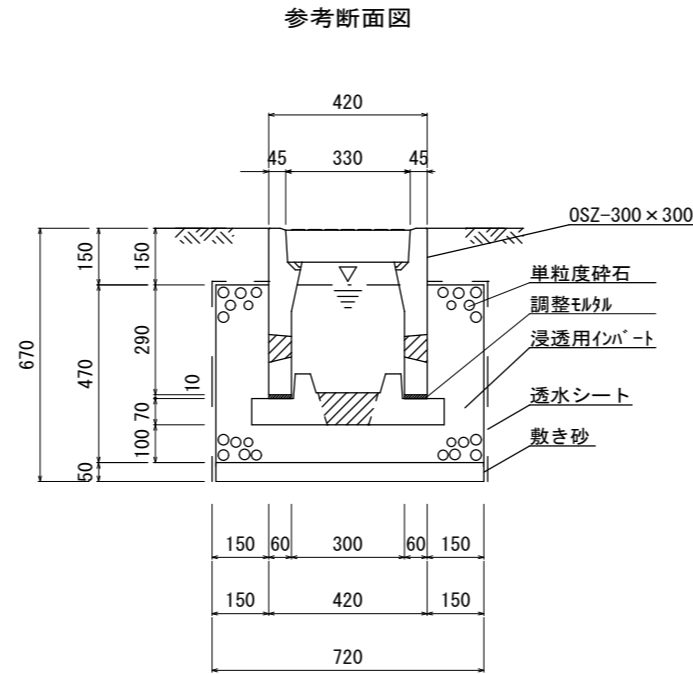
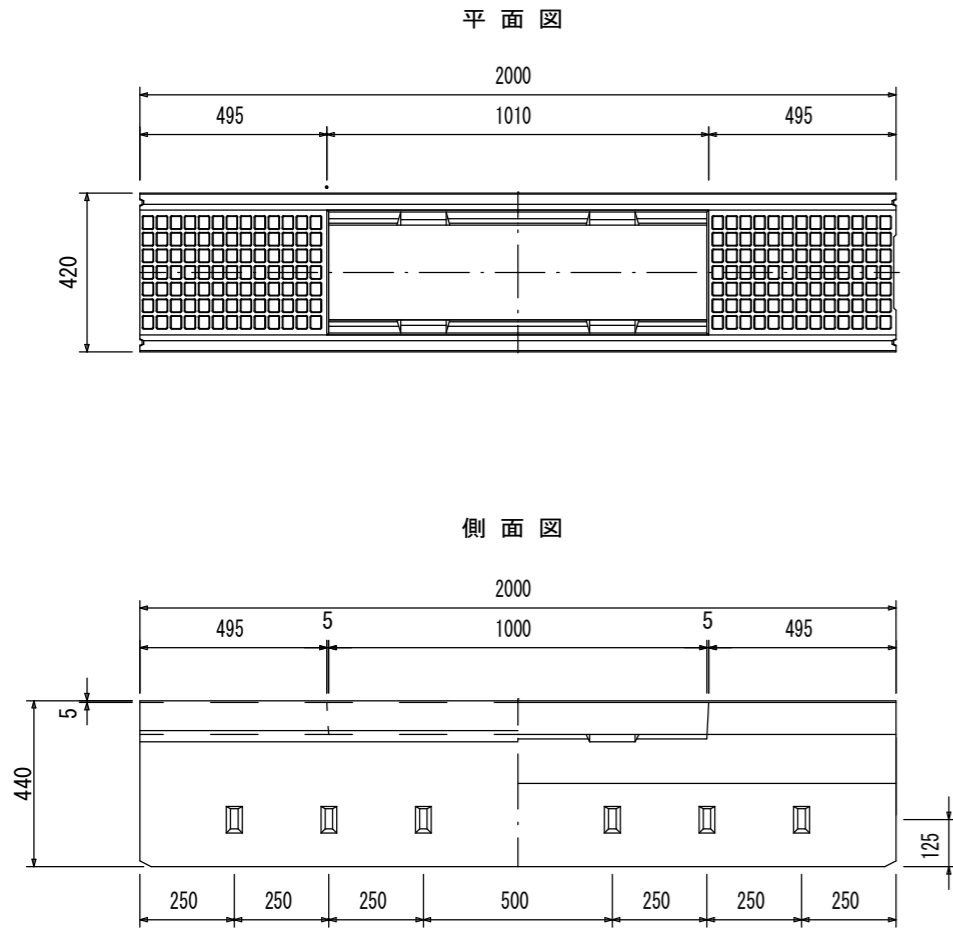


※ソーラー外灯  
 今工事では6基設置のこと  
 位置は現場協議による

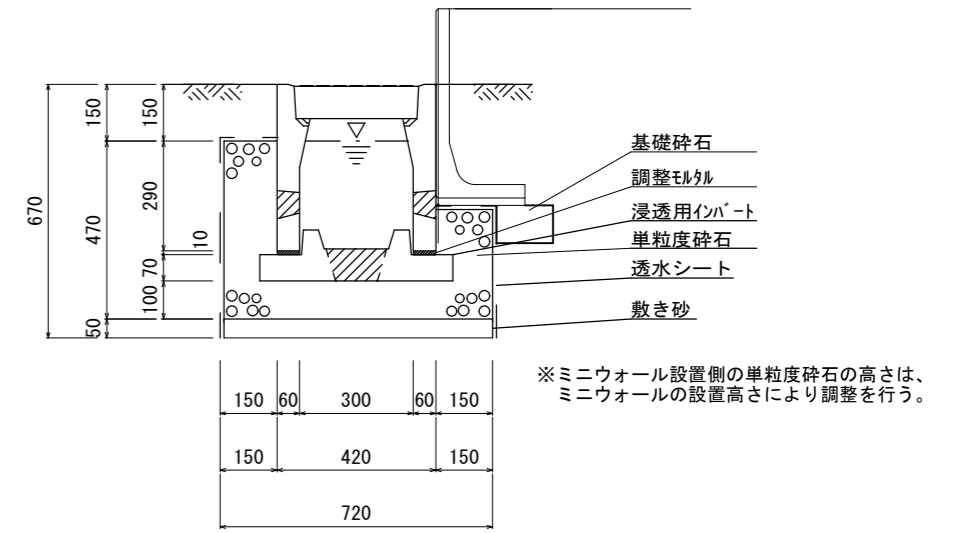
ソーラー外灯  
 S=1/10

DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
		令和8年度 市営住宅穂高団地除却 及び建物付属整備工事	構造図	G - 08
		08 02 24	A3-1/50	

### OSZ可変側溝300（浸透用）構造図 S=1/20

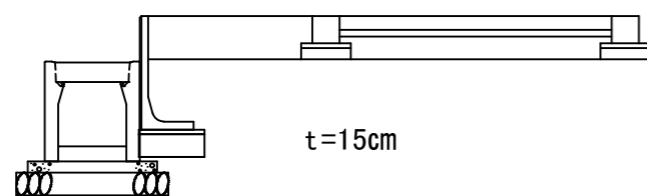


### ミニウォール取り付け図

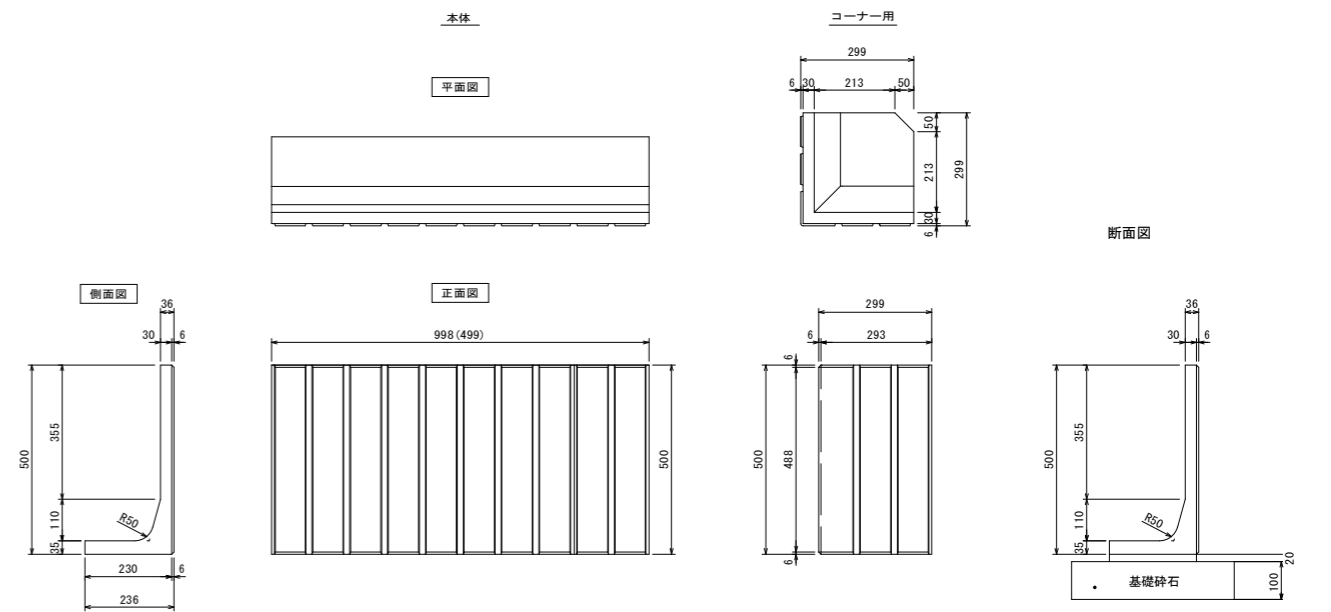


### 建物間通路段差部詳細図

(V S とミニウォールの段差は各施工場所にて調整する。)

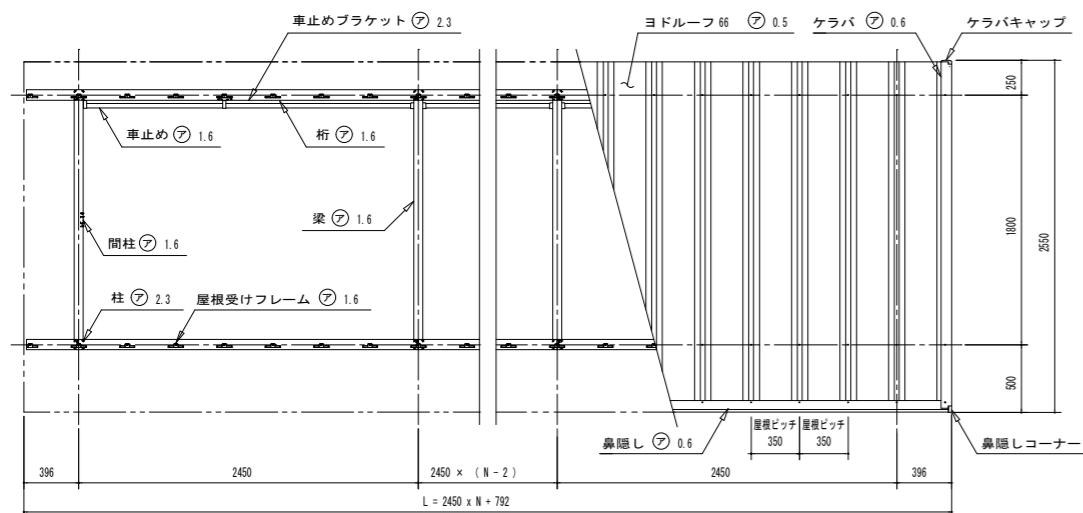


### ミニウォール500 構造図



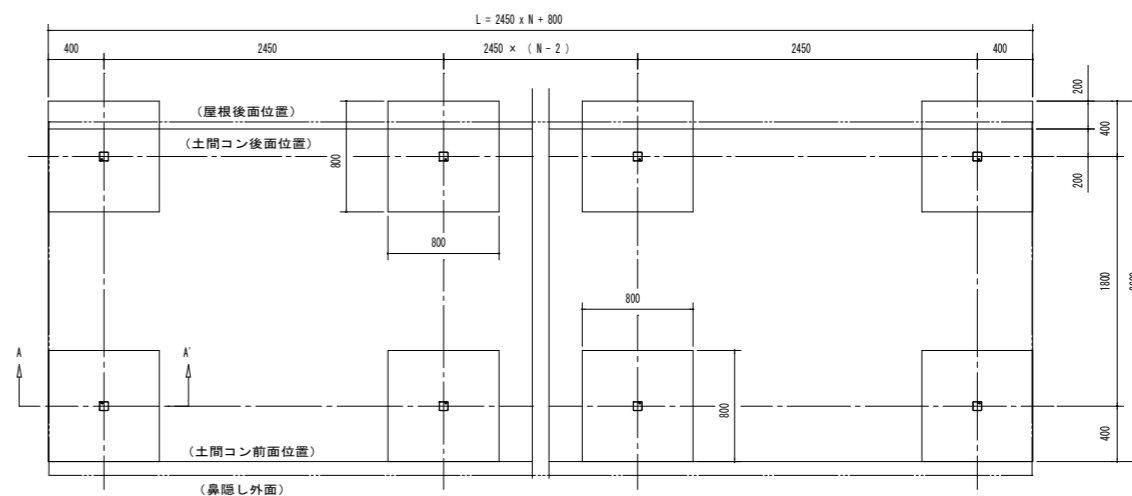
			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
			DATE		令和8年度 市営住宅穂高団地除却 及び建物付属整備工事	構造図	G - 09
			08 02 24			SCALE	A3-1/50

# ヨド自転車置場 YOKC 型 (埋め込み方式)



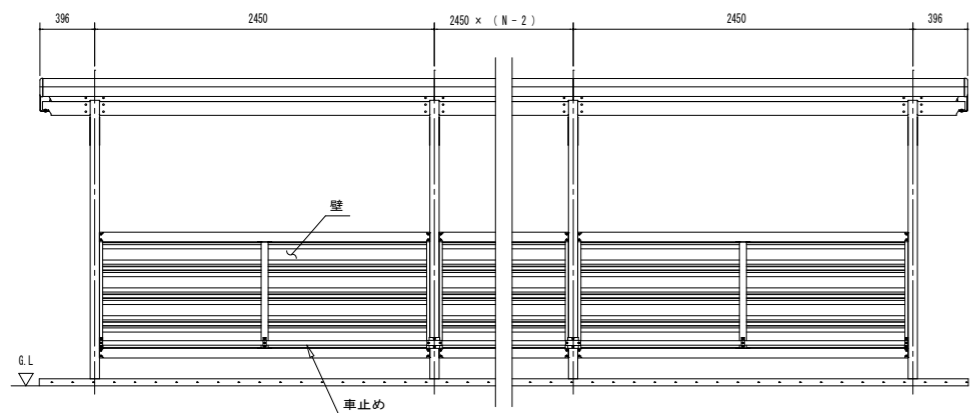
小屋伏図 (S=1/40)

(N: スパン数)



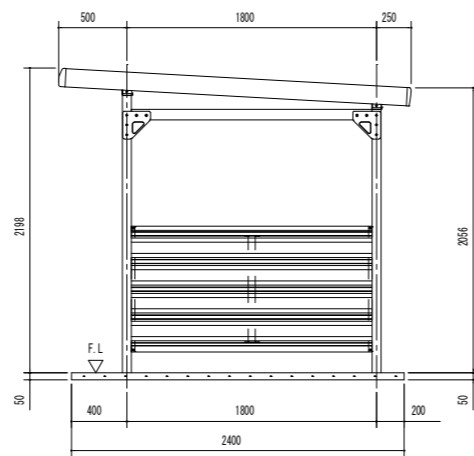
基礎伏図

(N: スパン数)

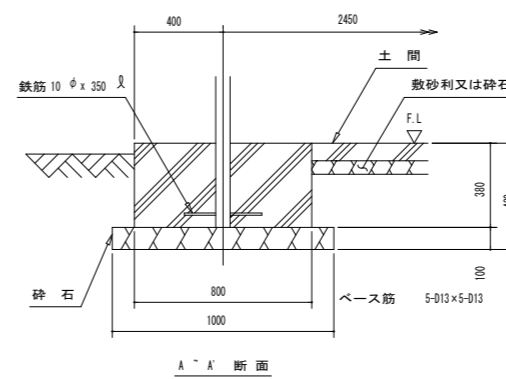


正面立面図 (S=1/40)

(N: スパン数)



側面立面図 (S=1/40)



A-A 断面

基礎断面図 (S=1/40)

<下記条件での参考図>

(地耐力 50 N/m<sup>2</sup> 以上, コンクリート設計基準強度 18 N/mm<sup>2</sup> 以上)  
基準風速 34 m/s, 地表面粗度区分 II

注1) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。

注2) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。

			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅穂高団地除却 及び建物付属整備工事	MAP NAME	駐輪場	MAP NO. G - 10
			DATE	08.02.24		SCALE		